

## 議事次第

日時：平成 31 年 2 月 22 日（金）10:00～12:00

場所：奈良商工会議所（地階 A 会議室）

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 平成 31 年度西大台利用調整地区の運用計画
  - (2) 大台ヶ原の利用に関する調査結果
  - (3) 大台ヶ原登録ガイド制度
  - (4) 構成機関における取組事例
  - (5) 大台ヶ原における自然再生の取組
  - (6) その他
- 3 閉会

### ○ 配布資料

#### 議事次第

#### 出席者名簿

資料 1：平成 31 年度西大台利用調整地区の運用計画（案）

資料 2：大台ヶ原の利用動向及び西大台利用調整地区アンケート結果

資料 3-1：大台ヶ原登録ガイド制度の概要

資料 3-2：大台ヶ原登録ガイド制度に関する取組事例（未定稿）

資料 3-3：大台ヶ原登録ガイド制度の活性化に関する意見及び対応の方向性

資料 4：構成機関における取組事例

資料 5：平成 30 年度大台ヶ原自然再生事業の取組

参考資料 2：西大台利用調整地区の利用に関する意見聴取用紙

参考資料 3-1：大台ヶ原登録ガイド ガイド実績取りまとめ票の集計結果

参考資料 3-2：大台ヶ原登録ガイドに関するアンケート 実施結果

参考資料 3-3：大台ヶ原登録ガイドスキルアップ講習会 開催結果

## 出席者名簿

### <構成機関>

機 関	氏 名
国土交通省近畿運輸局	(ご欠席)
林野庁近畿中国森林管理局	三重森林管理署 落窪 弘行 地域林政調整官
奈良県地域振興部	南部東部振興課 久保 良佳 課長補佐
奈良県くらし創造部景観・環境局	景観・自然環境課 井上 弘貴 主事 田垣内 政信 主任技能員
奈良県県土マネジメント部	道路管理課 北岡 宰 係長 吉野土木事務所 工務二課 篠原 健一郎 係長
奈良県警察吉野警察署	生活安全課 中本 勝之 課長
三重県農林水産部	(ご欠席)
上北山村	地域振興課 安田 貴生 主幹
川上村	地域振興課 杉本 晃一 副課長
大台町	産業課(大杉谷登山センター) 蕨野 祐樹
上北山村議会	(ご欠席)
上北山村観光協会	(ご欠席)
上北山村漁業協同組合	(ご欠席)
上北山村区長会	(ご欠席)
上北山村商工会	金岩 修平 経営指導員
上北山村山岳救助隊	(ご欠席)
奈良県猟友会上北山支部	事務局 更谷 亮太
財団法人グリーンパークかわかみ	(ご欠席)
自然を返せ!関西市民連合	(ご欠席)
奈良県勤労者山岳連盟	高橋 円 自然保護委員長
奈良県山岳連盟	野田 健司 理事
近畿日本鉄道株式会社	(ご欠席)
一般社団法人 奈良県タクシー協会	(ご欠席)
奈良交通株式会社	(ご欠席)

公益社団法人 日本山岳会 関西支部	斧田 一陽 理事 自然保護委員長
特定非営利活動法人 森と人のネットワーク・奈良	(ご欠席)
大台ヶ原パークボランティアの会	(ご欠席)
吉野きたやま森林組合	松谷 直巳 参事
一般財団法人 心湯治館	城内 勲 代表理事
ワーク21 上北山	(ご欠席)
大台・大峯植生談話会	横田 岳人 世話人
三重県山岳連盟	根本 幹雄 会長
大阪府山岳連盟	斧田 一陽 顧問

<近畿地方環境事務所>

氏 名	所 属
環境省近畿地方環境事務所	榎本 和久 国立公園課長
	蒲池 紀之 生物多様性保全企画官
	竹下 守昭 自然再生企画官
	戸田 博史 専門官
吉野自然保護官事務所	関 貴史 自然保護官
	小川 遥 自然保護官補佐

<オブザーバー>

株式会社環境総合テクノス	環境部 自然環境グループ 樋口 高志 マネージャー 樋口 香代 リーダー 大台ヶ原ビジターセンター 福島 千草
--------------	---

<業務委託者>

株式会社一成	企画調整室 迫田 華絵 小林 桃子
--------	-------------------------

## 平成 31 年度西大台利用調整地区の運用計画（案）

### 1 利用調整を行う期間

平成 31 年 4 月 20 日（土）から 11 月 30 日（土）まで

※当該期間は、県道大台ヶ原公園川上線（大台ヶ原ドライブウェイ）の開通期間であり、開通・閉鎖日は天候等により変更の可能性がある。

### 2 1 日あたりの立入可能な人数の上限

1) 利用集中期の平日 : 50 人

2) 利用集中期の土日祝日 : 100 人

3) 利用集中期以外の平日 : 30 人

4) 利用集中期以外の土日祝日 : 50 人

※1 団体（2 人以上を団体とする）の利用申込みは、代表者を含め最大 10 人まで

### 3 利用集中期

過去の台ヶ原の利用実態に基づき、以下の期間を利用集中期として設定する。

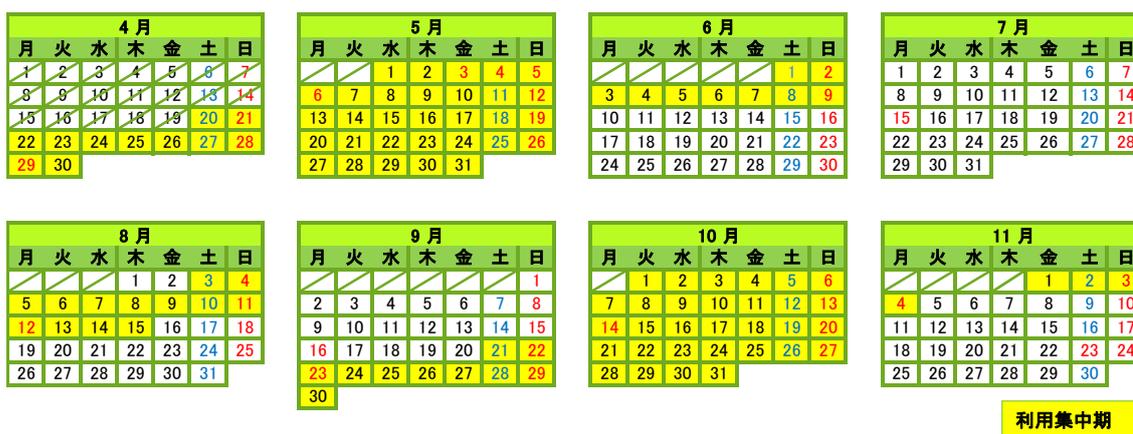
1) 春期：平成 31 年 4 月 20 日（土）から 6 月 9 日（日）まで

2) 夏期：平成 31 年 8 月 3 日（土）から 8 月 15 日（木）まで

3) 秋期：平成 31 年 9 月 21 日（土）から 11 月 4 日（月）まで

図 1 平成 31 年度西大台利用調整地区利用調整カレンダー

平成31年度(2019年) 西大台利用調整地区 利用調整カレンダー



- ・利用調整期間 4月20日～11月30日(延べ225日)
- ・利用集中期 4月20日～6月9日(51日)、8月3日～8月15日(13日)、9月21日～11月4日(45日)
- 参考(平成30年度)
- ・利用調整期間 4月21日～11月30日(延べ224日)
- ・利用集中期 4月21日～6月10日(51日)、8月4日～8月15日(12日)、9月22日～11月4日(44日)

4 指定認定機関

上北山村商工会が指定認定機関として、立入認定事務を行う。

平成 31 年度の立入については、平成 31 年 1 月 18 日（金）から受付を開始する。

5 事前レクチャー

実施者：近畿地方環境事務所（請負事業者含む）及び上北山村商工会

実施期間：平成 31 年 4 月 20 日（土）から 11 月 30 日（土）まで

実施場所：大台ヶ原ビジターセンターレクチャールーム

上北山村商工会

時間割：以下の時間割を予定

<表 1 事前レクチャー時間割>

大台ヶ原ビジターセンター		
区分	利用集中期の平日・ 通常期のすべての日	利用集中期の土日祝日
①		7：30～8：00
②	8：30～9：00	8：30～9：00
③	9：30～10：00	9：30～10：00
④	10：30～11：00	10：30～11：00
⑤	11：00～11：30	11：00～11：30
⑥	11：30～12：00	11：30～12：00
⑦	16：00～16：30	16：00～16：30

上北山村商工会	
区分	利用集中期、通常期の平日
①	
②	8：30～9：00
③	9：30～10：00
④	10：30～11：00
⑤	11：30～12：00
⑥	16：00～16：30

(8/13～8/16を除く)

6 巡視

実施期間：平成 31 年 4 月 20 日（土）から 11 月 30 日（土）まで毎日

実施者：環境省（自然保護官）及びアクティブレンジャーによる巡視の他、環境省の巡視業務を請け負った者が複数人数で実施

## 7 制度運用上の変更点

「吉野熊野国立公園西大台利用調整地区における認定関係事務の実施に関する規程」では、立入認定日の変更は、奈良県道 40 号大台ヶ原川上線等の通行止めにより、認定日の立入が困難な場合に限り認められており、利用者から柔軟な対応を求める意見が出されていた。このような中、西大台利用調整地区の利便性を図るとともに、より安全な利用を推進するため、従来の規程の外に荒天による立入日の変更ができるよう規程の見直しを行い、平成 30 年度から運用を開始している。

### <荒天による立入日の変更の条件>

①指定認定機関である上北山村商工会の会長が、大台ヶ原が荒天により安全に利用することが困難であると認める場合に限る。また、認定者からの申出が必要。

②荒天とは、台風や台風以外による豪雨、強風、雷、積雪等を想定している。また、利用調整地区の歩道の崩壊、倒木の大量発生、河川の増水等により安全に利用することが困難である利用環境の状態を含む。

### <平成 30 年度における立入日の変更を認めた事例>

- ・事例 1 8 月 24 日に入山予定であった 7 名のグループから、台風 20 号の接近により変更の申出があり、安全に利用することが困難であると認められたため、立入日の変更を認めた。
- ・事例 2 9 月 29 日に入山予定であった 5 名のグループから、台風 24 号の接近により変更の申出があり、安全に利用することが困難であると認められたため、立入日の変更を認めた。

## 8 モニタリング

利用調整の効果について評価を行う際の基礎資料を得るため、以下の事項について必要に応じて調査（モニタリング調査）を実施する。

調査結果は、大台ヶ原自然再生推進委員会において評価を行う。

### <モニタリング調査項目>

- ・自然環境の状態に関する事項：植物・動物調査等
- ・利用のあり方に関する事項：利用動向に関する調査等

## 9 普及啓発

西大台利用調整地区の制度について、引き続き関係機関への情報提供、ホームページの運用や広報資料の配布等による幅広い普及啓発を実施する。

<表 2 平成 30 年度に近畿地方環境事務所で実施した主な取組>

取組	対象	内容
ポスター・チラシ	一般	同地区の魅力や制度概要について、広く一般に対して周知するもので関係機関に配布

チラシ	立入認定者	コース、利用に当たっての注意事項等を事前に周知するもので、認定証と併せて送付
ガイド冊子	立入認定者	コース、自然解説、利用に当たっての注意事項等を記載したもので、レクチャー時に配布 また、外国人利用者用に英語版を作成した。
ホームページ	一般	同地区の魅力や制度概要について、広く一般に対して周知するもの
	立入認定者	立入を希望する者はHPからアクセスし、立ち入りを希望する日の予約をすることが可能

#### 10 自然ふれあいプログラムの提供等

エコツアーの実施等、関係機関等と連携したプログラムを検討する。

<表3 平成30年度に近畿地方環境事務所で実施した主な取組>

取組	対象	内容
ガイドウォーク	公共交通機関利用者	利用調整地区の適正な利用、制度の普及啓発を図るため、ガイド付きツアーを2回実施した（合計参加者数77名）。実施に当たっては、上北山村、(株)奈良交通、(株)近畿日本鉄道と連携、協力を得て行った。 ※当初3回予定していたが、台風により、うち1回中止された。

#### 11 運用結果の取りまとめ及び報告

利用調整期間終了後、各種モニタリング調査及び運用結果について整理・分析し、本協議会において報告・公表する。

## 大台ヶ原の利用動向及び西大台利用調整地区アンケート結果

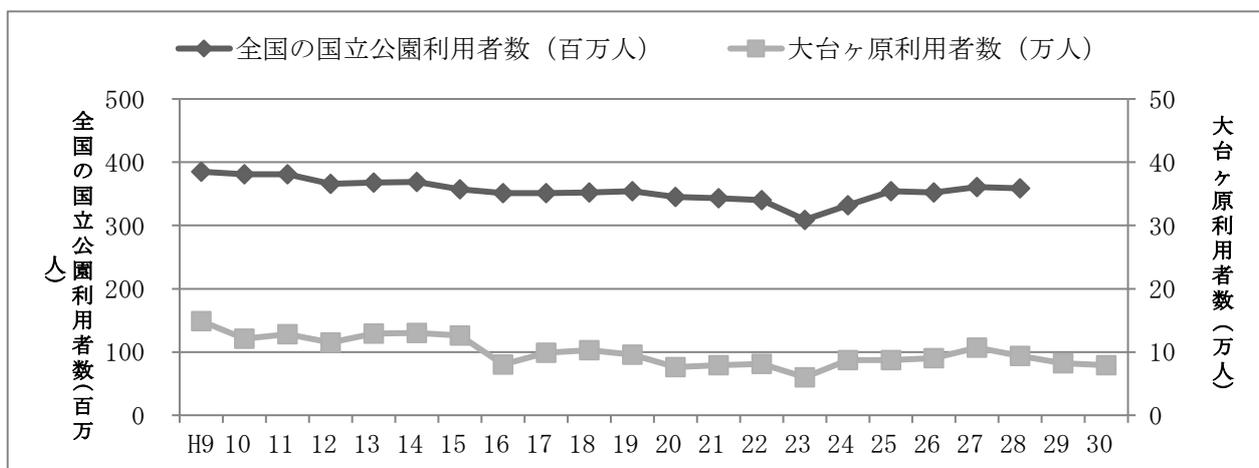
## I. 大台ヶ原の利用動向に関する分析

## 1. 大台ヶ原の利用動向

## (1) 大台ヶ原の利用者数の推移

- ・平成 30 年度の大台ヶ原の利用者数は、79,181 人で前年に比べ 3,237 人 (3.9%) 減少した。
- ・22 年間の大台ヶ原利用者数の推移をみると、減少傾向で推移していた。平成 24 年度から微増に転じたが、平成 27 年度からは減少傾向が続いている。

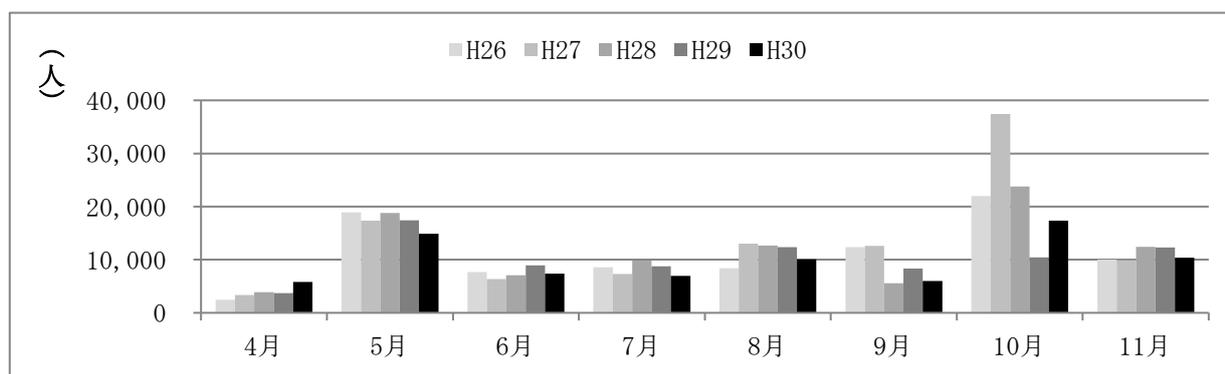
図表 1 全国の国立公園と大台ヶ原の利用者数の推移 (22 年間)



## (2) 大台ヶ原の月別利用者数

- ・平成 30 年度の大台ヶ原の月別利用者数は 10 月が 17,366 人で最も多かった。

図表 2 大台ヶ原の月別利用者数の推移 (H26~30)



<sup>1</sup> 全国の国立公園の利用者数は、環境省発表の統計「自然公園等利用者数調査」に基づく。  
 大台ヶ原の利用者数については山上駐車場の駐車台数のデータを用いた推計値である。利用者数の推計式は下記のとおりである。  
 (H5~H21の利用者数) 推計利用者数=観光バス台数×25人+乗用車台数×3人×3回転+二輪車台数×1.5人  
 (H22~H30の利用者数) 推計利用者数=観光バス台数×22人+乗用車台数×2.2人×2回転+二輪車台数×1.1人

<sup>2</sup> 月別の利用者数は山上駐車場の駐車台数の日次データ(大台ヶ原ビジターセンター記録)を用いた推計値である。利用者数の推計値は前注記のとおりである。

(3) 西大台利用調整地区の認定者数及び入山者数

・平成 30 年度の認定者数は 2,753 人、入山者数は 2,489 人で、前年に比べ認定者数は 548 人(16.6%)、入山者数は 432 人(14.8%) 減少した。

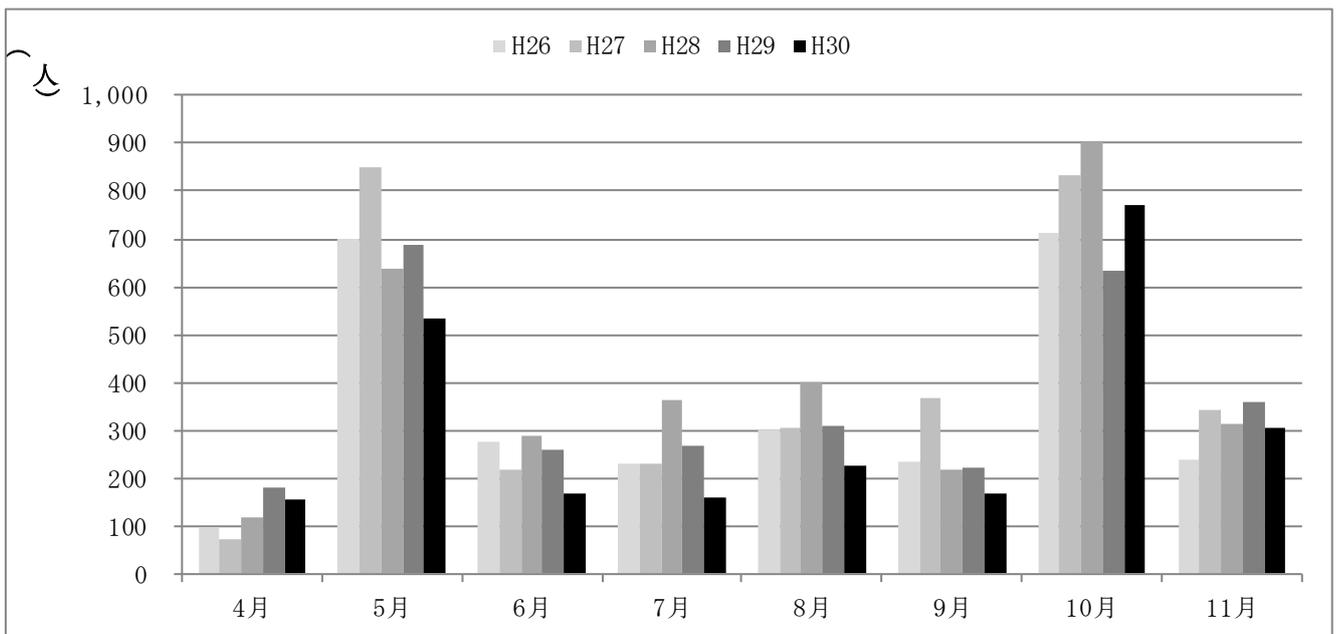
図表 3 西大台利用調整地区の認定者数・入山者数の推移

月	認定者数 (人)										入山者数 (人)											
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
4	54	51	20	52	41	60	109	74	125	193	164	50	43	20	41	41	58	96	72	120	182	157
5	222	326	261	541	510	636	756	934	696	714	580	187	303	204	437	472	591	699	851	639	687	533
6	171	118	274	269	292	251	309	236	309	273	203	163	107	241	187	277	230	278	216	288	261	169
7	85	86	102	181	197	262	270	289	402	277	190	82	74	97	139	181	250	230	230	363	268	158
8	137	137	145	277	299	370	367	320	417	328	273	122	107	144	268	246	340	300	303	400	310	227
9	75	84	120	159	266	294	262	395	280	246	212	69	81	116	64	242	199	234	368	216	223	169
10	304	332	617	526	889	915	871	870	975	886	807	268	283	543	425	841	714	711	834	903	632	771
11	220	138	148	153	488	366	286	377	337	384	324	195	124	138	133	439	315	237	343	314	358	305
合計	1,268	1,272	1,687	2,158	2,982	3,154	3,230	3,495	3,541	3,301	2,753	1,136	1,122	1,503	1,694	2,739	2,697	2,785	3,217	3,243	2,921	2,489
認定者 に対する 割合 (%)												89.6	88.2	89.1	78.5	91.9	85.5	86.2	92.0	91.6	88.5	90.4

(4) 西大台利用調整地区の月別入山者数

- ・平成 30 年度の月別入山者数は 10 月が 771 人で最も多かった。
- ・5ヶ年の推移をみると、5月と10月がピークとなっている。

図表 4 西大台利用調整地区月別入山数の推移

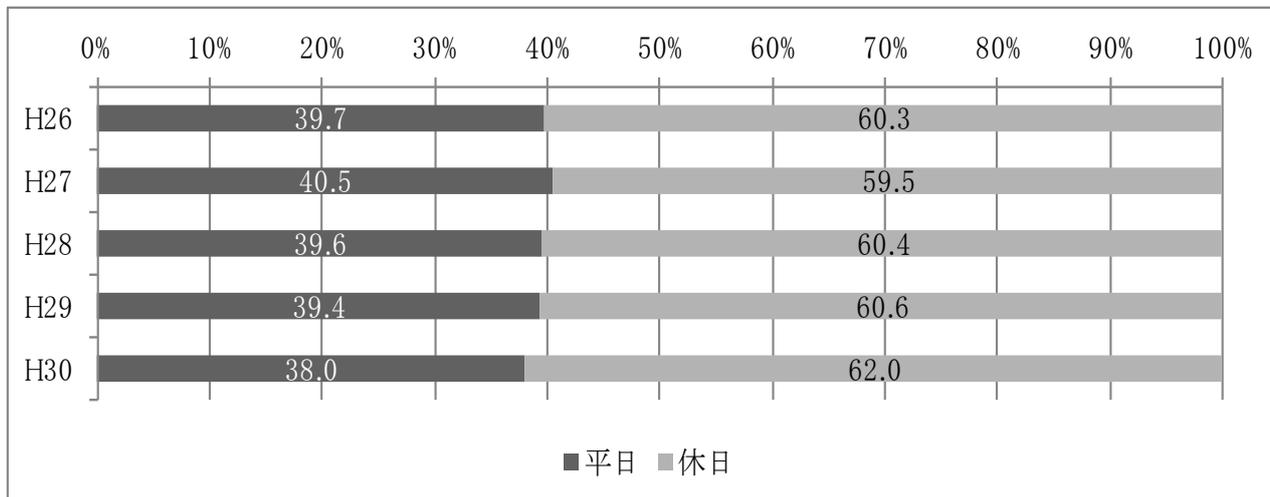


## 2. 大台ヶ原の利用状況

### (1) 大台ヶ原の平日・休日別利用者割合

- ・平成 30 年度の平日・休日別利用者割合は平日が 38.0%、休日が 62.0%であった。
- ・5 年間における、平日・休日別の利用者割合に、大きな変化は見られなかった。

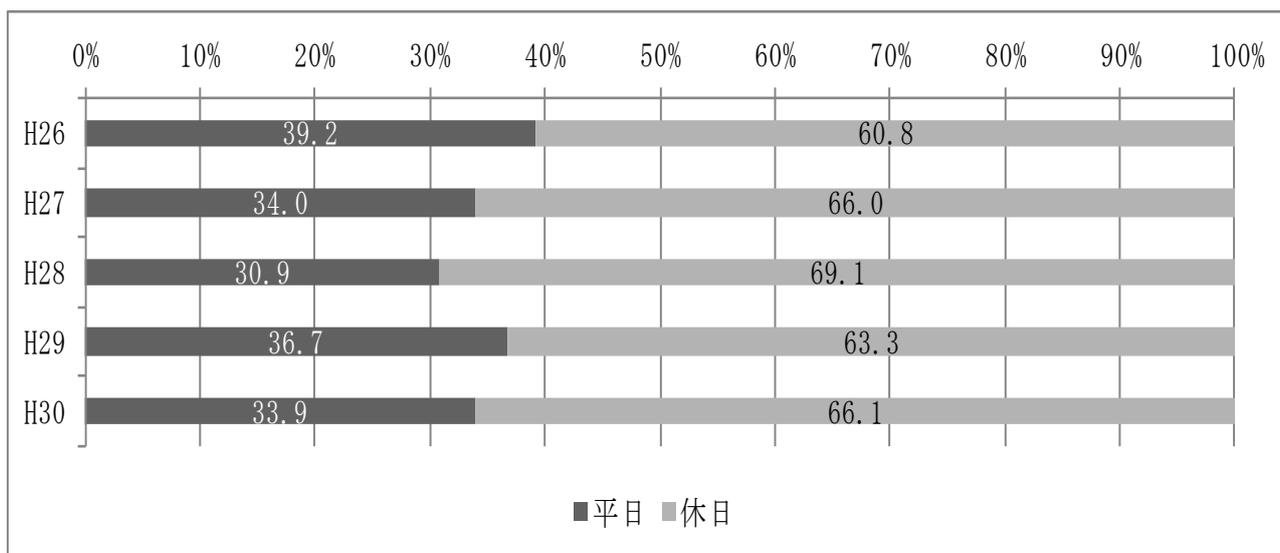
図表 5 大台ヶ原の利用者数の平日・休日別割合 (H26~30)



### (2) 西大台利用調整地区の平日・休日別入山者数割合

- ・平成 30 年度の平日・休日別入山者数割合は、平日が 33.9%、休日が 66.1%であった。
- ・前年度と比較すると、休日が 2.8 ポイント増加している。

図表 6 西大台利用調整地区の入山者数の平日・休日別割合 (H26~30)



(3) 西大台利用調整地区の巡視及び無認定立入者への指導状況

- ・平成 30 年度の巡視中における無認定立入者への指導状況は 0 件であった。
- ・制度の運用を開始以降、指導等の件数は減少傾向が続いており、利用調整地区制度の理解が進んでいることが伺える。

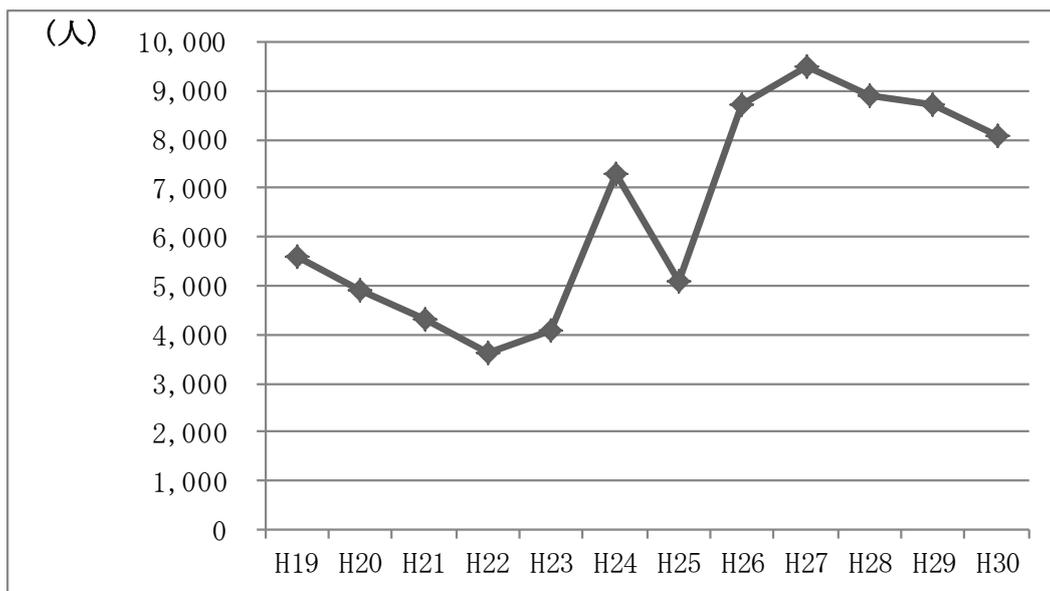
図表 7 無認定立入者への指導の状況

年度	区域内における 無認定立入者への指導	
	件数	人数
H20	19	32
H21	6	10
H22	8	16
H23	6	8
H24	6	8
H25	3	6
H26	2	2
H27	4	7
H28	1	1
H29	1	1
H30	0	0

(4) 公共交通の利用状況

- ・平成 30 年度の路線バスの乗車実績(平成 30 年 4 月～11 月)は延べ 8,070 名であった。
- ・平成 26 年度は大杉谷登山道が再開したため、利用者数が増加したものの、その後減少傾向が続いている。

図表 8 路線バス乗車人数の推移

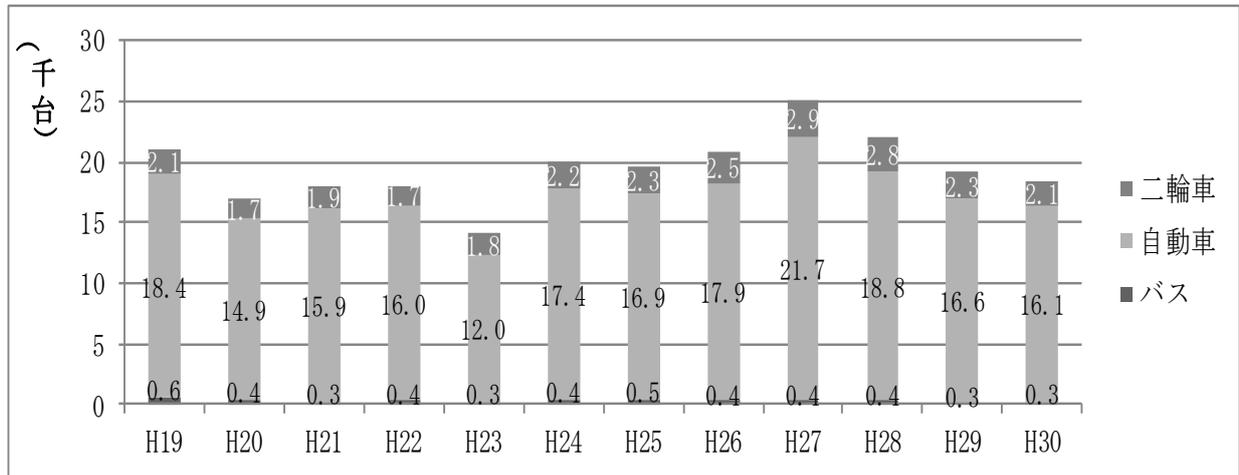


<sup>3</sup> 奈良交通株式会社吉野営業所・葛城営業所提供の資料(乗車人数)を基に作成した。なお、平成 25 年度は売上金額からの推計値である。

(5) 山上駐車場台数の推移

・平成30年度の山上駐車場の駐車台数は総数が18,481台で、うちバスが279台、自動車が16,067台、二輪車が2,135台であった。

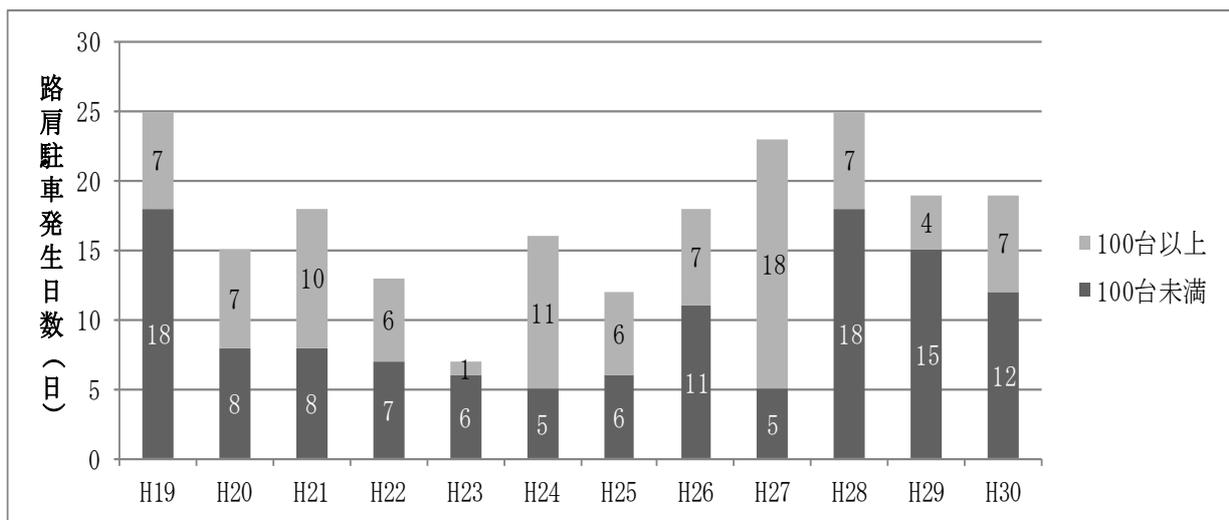
図表9 正午における駐車台数の推移（車種区分別、12年間）



(6) 周辺の混雑状況

・平成30年度の奈良県道40号大台ヶ原公園川上線（以下、「大台ヶ原ドライブウェイ」という。）において、路肩駐車が発生した日数は19日であった。このうち路肩駐車台数が100台以上発生した日は7日、100台未満の日は12日であった。

図表10 路肩駐車発生日数の推移（11年間）

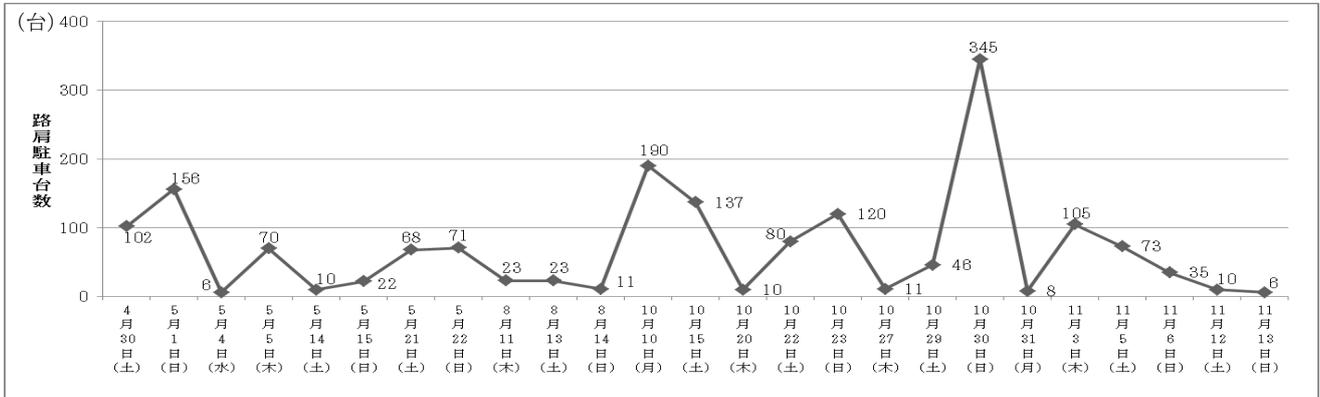


<sup>1</sup>大台ヶ原ビジターセンターにて記録されている、正午における自動車駐車台数を出典としている。

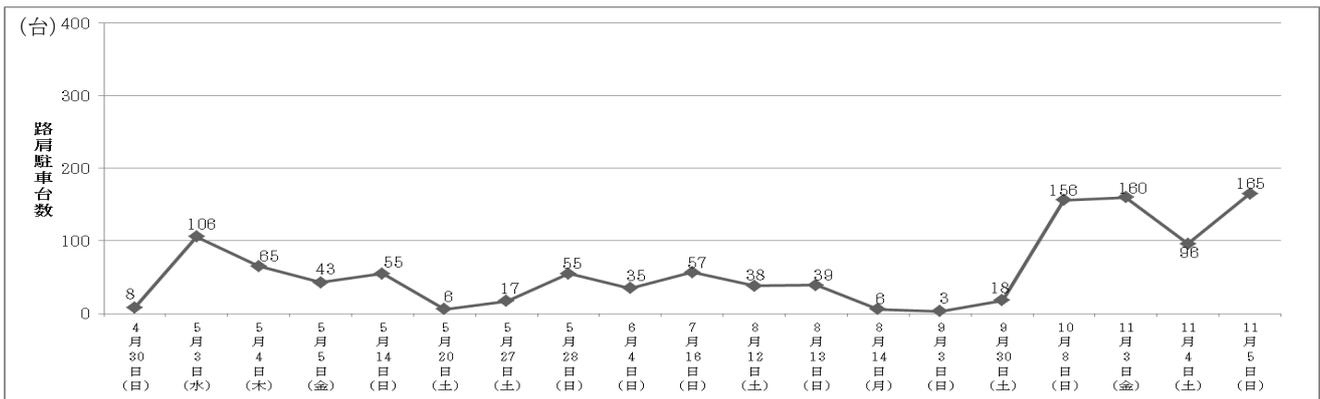
(7) 路肩駐車の発生状況

- ・平成 28 年度から平成 30 年度の大台ヶ原ドライブウェイでの路肩駐車の発生状況をグラフで比較した。路肩駐車が発生した日数と台数は、減少傾向にある。

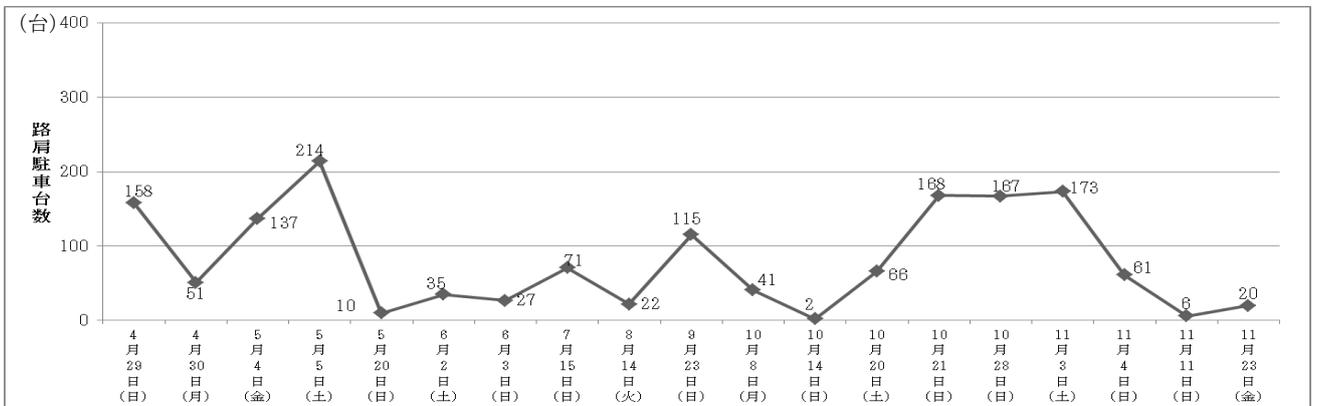
図表 11-1 平成 28 年度の路肩駐車の日と発生台数



図表 11-2 平成 29 年度の路肩駐車の日と発生台数



図表 11-3 平成 30 年度の路肩駐車の日と発生台数



## Ⅱ. 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施

### 1. 調査概要

- ・「西大台利用調整地区(以下「西大台」という。)」の事前レクチャー受講者を対象に意見聴取（アンケート）を実施し、利用者の属性や利用実態、利用後の満足度、事前レクチャーに対する評価等を把握した。
- ・意見聴取の実施方法は図表 13 に示すとおりである。また、意見聴取票における主な質問項目は図表 14 に示すとおりである。

図表 13 意見聴取の方法

<p>■調査名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・西大台利用調整地区の利用に関する意見聴取</li></ul>
<p>■対象</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「西大台利用調整地区」の事前レクチャー受講者</li></ul>
<p>■配布期間</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成 30 年 4 月 20 日～ 11 月 30 日</li></ul>
<p>■調査票の配布・回収</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大台ヶ原ビジターセンターで、事前レクチャー受講者に対して、意見聴取用紙と返信用封筒を配布した。意見聴取用紙の回収方法は、現地回収（大台ヶ原ビジターセンター）と郵送回収の 2 種類である。</li></ul>

図表 14 主な質問事項

<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者情報</li><li>・団体ツアー・個人（団体ツアー以外）の別</li><li>・行程(宿泊の有無)</li><li>・来訪回数</li><li>・入山前に大台ヶ原ビジターセンターで受けたレクチャーについて</li><li>・利用時の混雑さの印象</li><li>・ガイド利用について</li></ul>
--

単一選択の質問は[SA], 複数選択の質問は[MA], 記述式(自由回答)の質問は[FA]と表示

注：構成割合グラフについては、内訳と合計が一致しない場合がある。

図表 15 平成 20～30 年度のアンケート用紙配布数及び回収率

年度	配布数	回収数	回収率
H20	1,025	445	43.4%
H21	1,020	145	14.2%
H22	1,501	448	29.8%
H23	1,604	420	26.2%
H24	1,930	659	34.1%
H25	2,615	545	20.8%
H26	943	643	68.2%
H27	2,576	916	35.6%
H28	2,381	1,435	60.3%
H29	2,739	2,031	74.2%
H30	870	724	83.2%

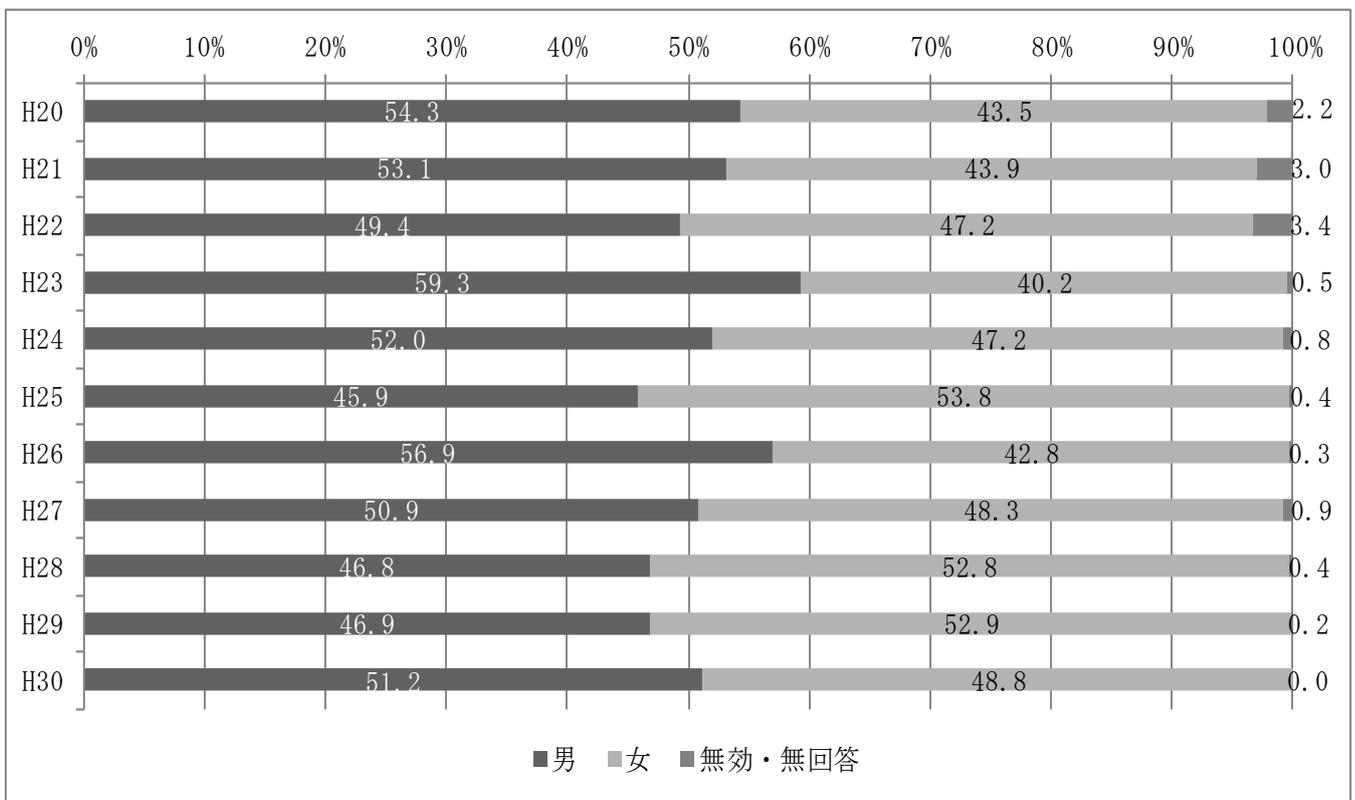
## 2. 基本事項

### (1) 回答者の属性[SA]

#### ① 性別

- ・平成 30 年度の利用者の性別割合は男性が 51.2%、女性が 48.8%であった。
- ・前年度に比べ、男性は 4.3 ポイント増加、女性は 4.1 ポイント減少した。

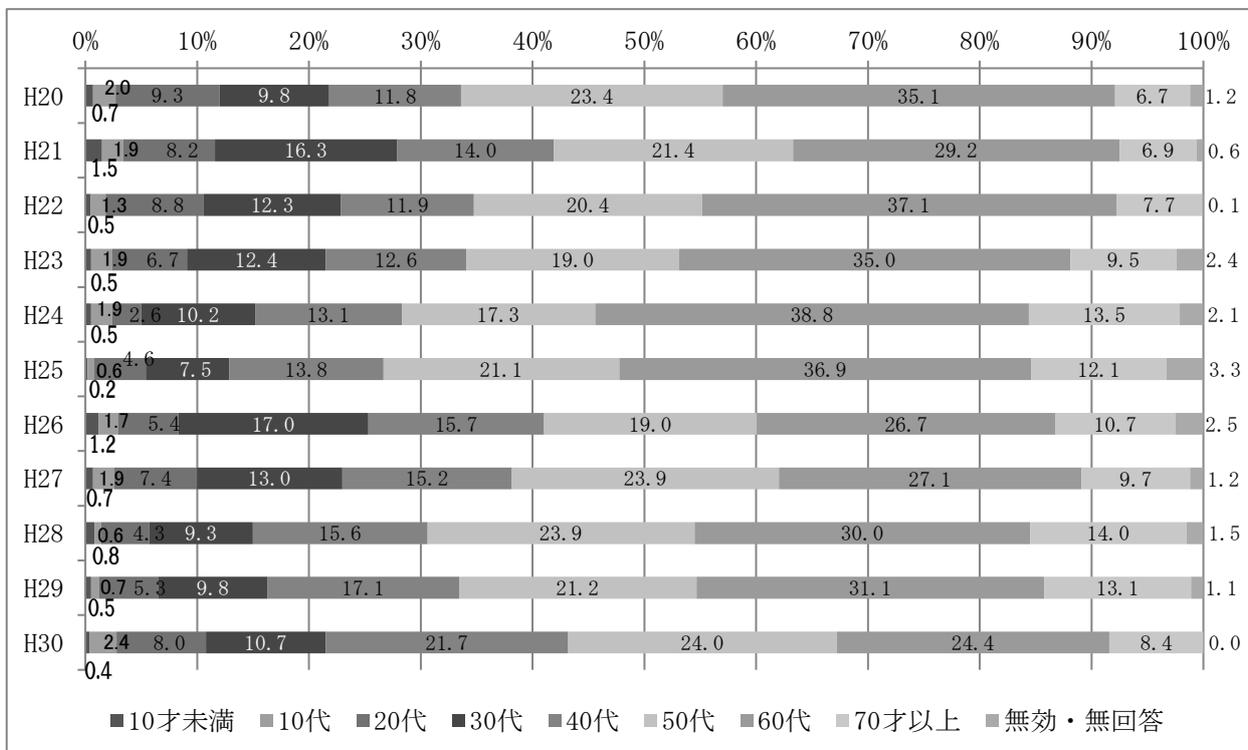
図表 16 利用者の性別割合



②年齢

・平成 30 年度の利用者の年齢層は、60 代(24.4%)が最も多く、次いで 50 代(24.0%)であった。

図表 17 利用者の年齢



③居住地

・平成 30 年度の利用者の居住地について都道府県別にみると、大阪府(30.3%)が最多であった。次いで奈良県(18.9%)、兵庫県(12.2%)の順であった。

図表 18 利用者の居住都道府県(上位 8 県)別割合

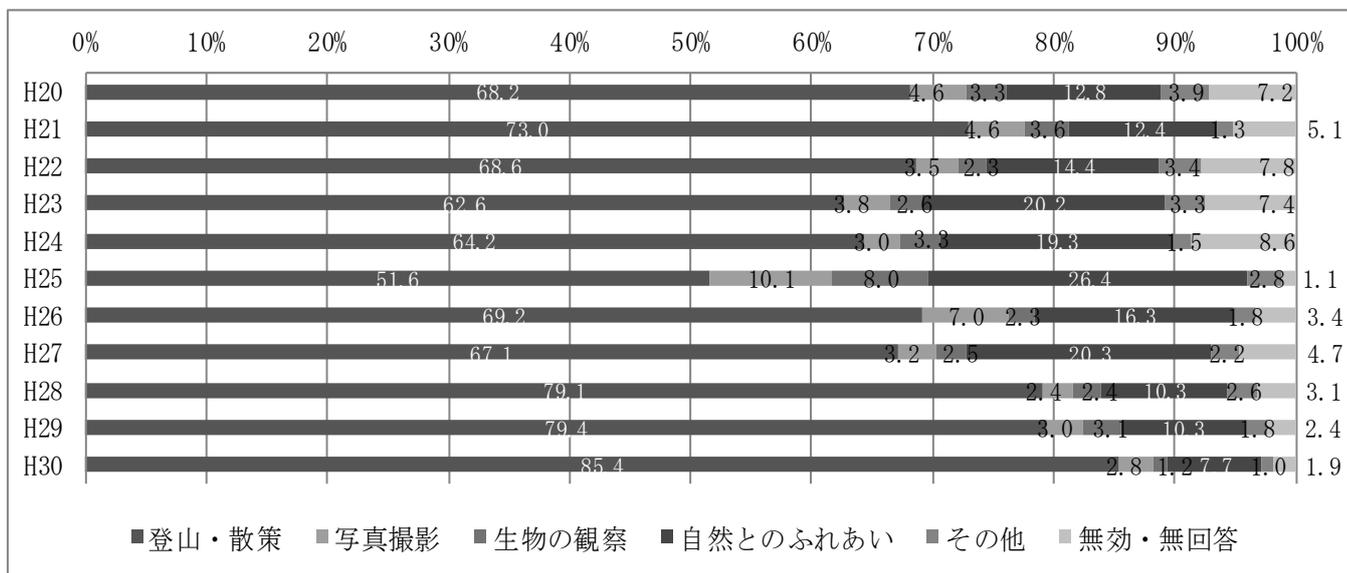
(%)

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1	大阪 35.0	大阪 30.3	愛知 23.1	大阪 31.4	大阪 30.5	大阪 25.9	大阪 32.3	大阪 29.4	大阪 42.9	大阪 32.3	大阪 30.3
2	奈良 13.1	兵庫 14.1	大阪 20.1	奈良 18.1	奈良 12.6	奈良 13.9	兵庫 15.4	奈良 19.3	兵庫 13.0	奈良 16.8	奈良 18.9
3	兵庫 11.2	奈良 13.2	奈良 16.1	兵庫 11.0	兵庫 8.5	兵庫 12.3	京都 10.6	兵庫 12.3	奈良 12.7	兵庫 12.7	兵庫 12.2
4	京都 6.5	京都 9.2	兵庫 10.5	愛知 5.7	愛知 8.5	愛知 7.3	奈良 9.2	京都 9.3	京都 8.2	京都 5.7	和歌山 7.1
5	三重 6.1	神奈川 4.2	京都 10.1	三重 5.5	三重 7.3	京都 5.1	岡山 5.8	愛知 4.1	愛知 3.3	東京 4.7	京都 6.5
6	東京 6.0	愛知 3.9	三重 7.9	京都 4.5	京都 7.0	和歌山 3.9	愛知 5.6	滋賀 2.7	滋賀 2.9	愛知 3.9	愛知 5.4
7	愛知 5.9	東京 3.5	和歌山 2.7	静岡 4.3	静岡 5.9	神奈川 3.5	和歌山 4.5	神奈川 2.6	神奈川 2.2	和歌山 2.7	東京 3.9
8	和歌山 3.8	和歌山 3.5	岐阜 1.8	和歌山 2.4	和歌山 2.9	滋賀 2.6	三重 2.6	東京 2.4	東京 2.0	神奈川 2.6	三重 2.6

④来訪目的

・平成 30 年度の利用者の西大台への来訪目的は、「登山・散策」が 85.4%で最も多かった。

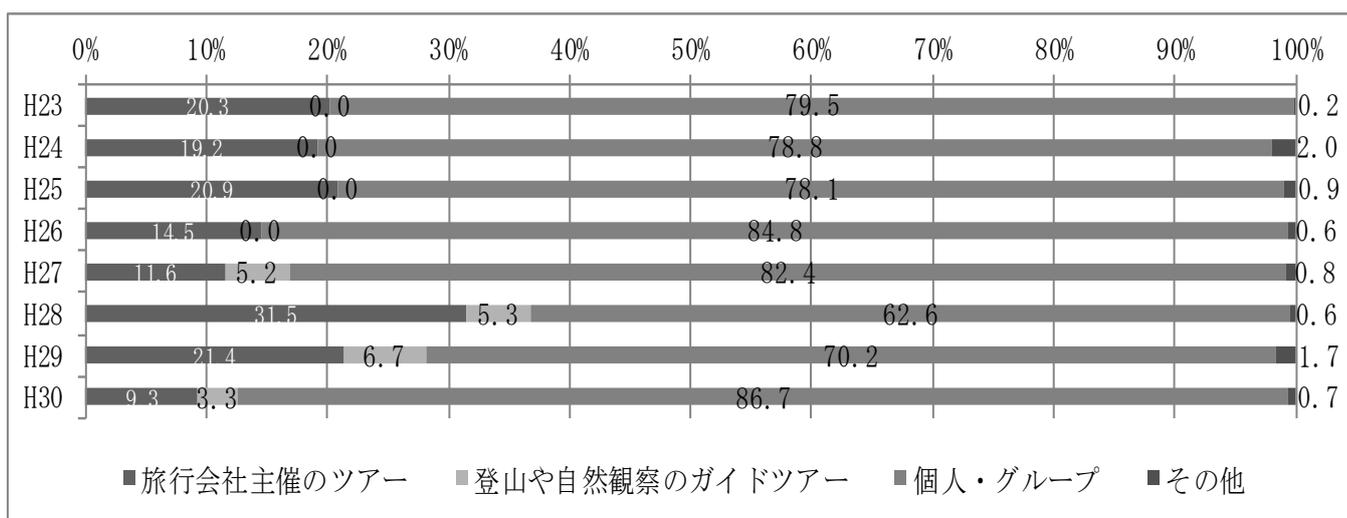
図表 19 西大台への来訪目的



(2)団体ツアー・個人の別[SA]

・平成 30 年度の利用者の団体ツアー・個人の別については、「個人・グループ」が 86.7%で最も多かった。旅行会社主催のツアーは 9.3%で、前年度に比べて 12.1 ポイント減少した。

図表 20 団体ツアー・個人別



・旅行社主催のツアーに参加したと回答した 67 名について、その主催者名を聞いたところ、「奈良交通」(26 名) が最も多く、次いで「毎日新聞旅行」(11 名)、「サンケイトラベル」(9 名) であった。

図表 21 旅行会社主催ツアー 主催者名及び参加者数

区分	主催者	人	%
1	奈良交通	26	38.8
2	毎日新聞旅行	11	16.4
3	サンケイトラベル	9	13.4
4	熊野エコツアーリスト	3	4.5
5	阪急	1	1.5
6	その他	1	1.5
7	無効・無回答	16	23.9
	計	67	100.0

・登山や自然観察のガイドツアーと回答した 29 名については、以下のとおりである。

図表 22 登山や自然観察のガイドツアー 主催者名及び参加者数

区分	主催者	人	%
1	Aガイド	4	13.8
2	Bガイド	3	10.3
3	Cガイド	3	10.3
4	遊山トレッキングサービス	3	10.3
5	ちくちゅーガイドツアー	1	3.4
6	上北山村地域活性化イベント	2	7.0
7	近畿地方環境事務所	2	7.0
8	旅行社主催ツアー	10	34.5
9	その他	1	3.4
10	無効・無回答	0	0.0
	計	29	100.0

・来訪について個人又はグループ別を聞いたところ、回答があった 624 人のうち、2 人での来訪が最も多かった。

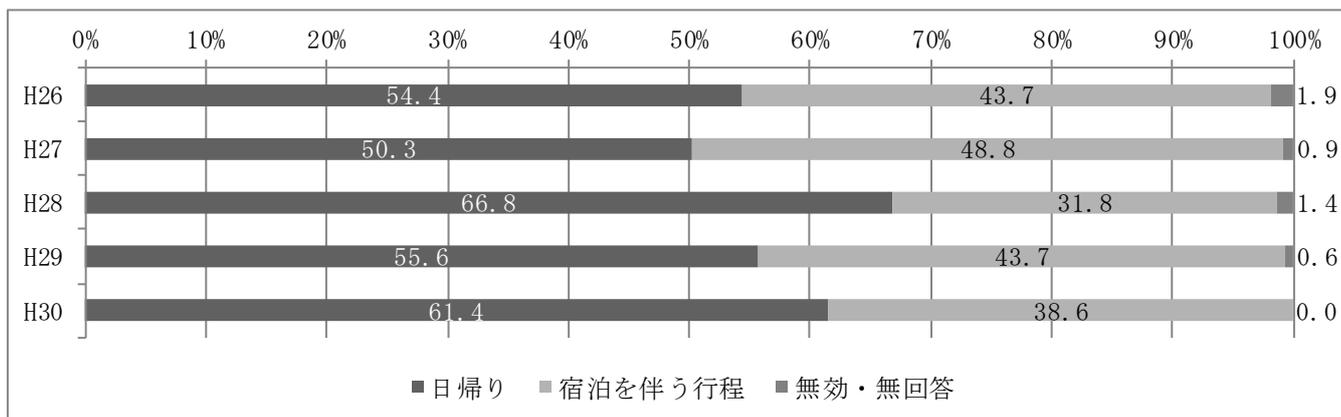
図表 23 個人又はグループでの来訪時の人数

区分	個人又はグループの人数	人	%
1	1人	55	8.8
2	2人	247	39.6
3	3人	102	16.3
4	4人	68	10.9
5	5人	18	2.9
6	6人	25	4.0
7	7人	21	3.4
8	8人	9	1.4
9	9人	12	1.9
10	10人	10	1.6
11	無効・無回答	57	9.1
	計	624	100.0

(3) 行程[SA・FA]

- ・平成30年度の利用者の行程は「日帰り」が61.4%、「宿泊を伴う行程」は38.6%であった。
- ・前年度に比べると、「日帰り」が5.8ポイント増加し、「宿泊を伴う行程」が5.1ポイント減少した。

図表24 大台ヶ原への行程



- ・宿泊を伴う行程と回答した利用者278名について、その宿泊先を聞いたところ「心・湯治館」(158名)が最も多かった。

図表25 宿泊先(宿泊を伴う行程の利用者のみ)

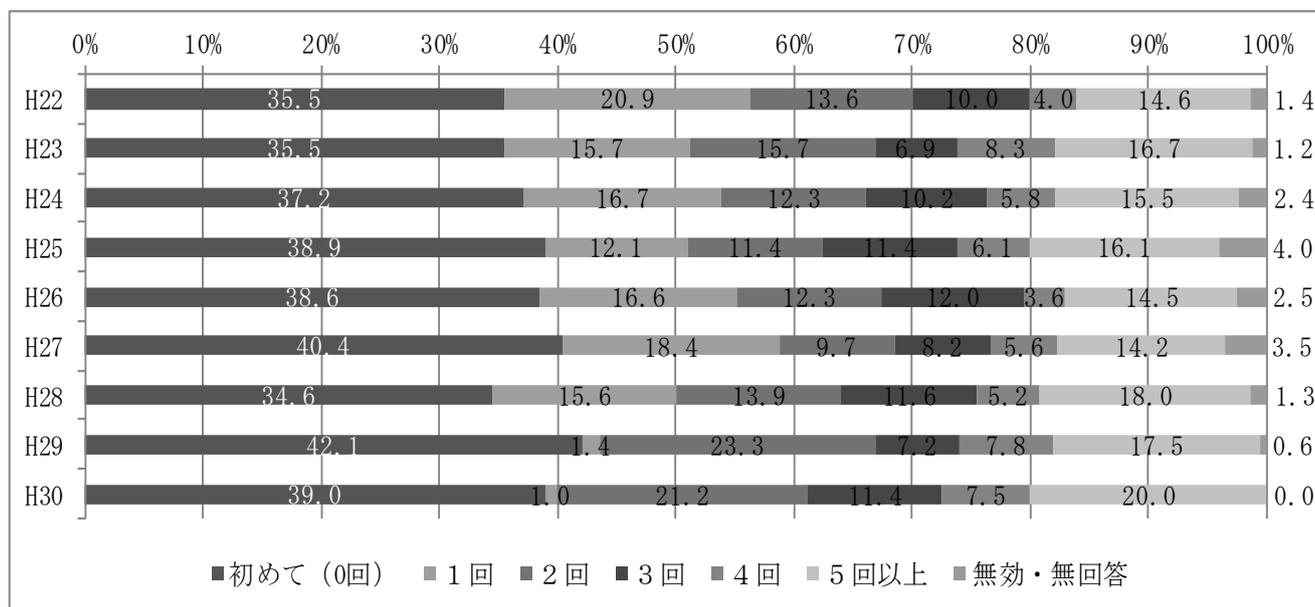
区分	カテゴリ	人	%
1	心・湯治館	158	21.8
2	桃の木小屋	15	2.1
3	和佐又山キャンプ場	10	1.4
4	朝日館	6	0.8
5	粟谷小屋	2	0.3
6	入乃波温泉	2	0.3
7	洞川温泉	2	0.3
8	民宿まつもと	2	0.3
9	下北山村スポーツキャンプ場	2	0.3
10	杉の湯	1	0.1
11	明日香村ゲストハウス	1	0.1
12	車中泊	27	3.7
13	その他	28	3.9
14	無効・無回答	468	64.6
	計	724	100.0

(4) 来訪回数 [SA]

① これまでに大台ヶ原に来た回数

- ・平成 30 年度の利用者の大台ヶ原への来訪回数は、「初めて」(39.0%)が最も多かった。

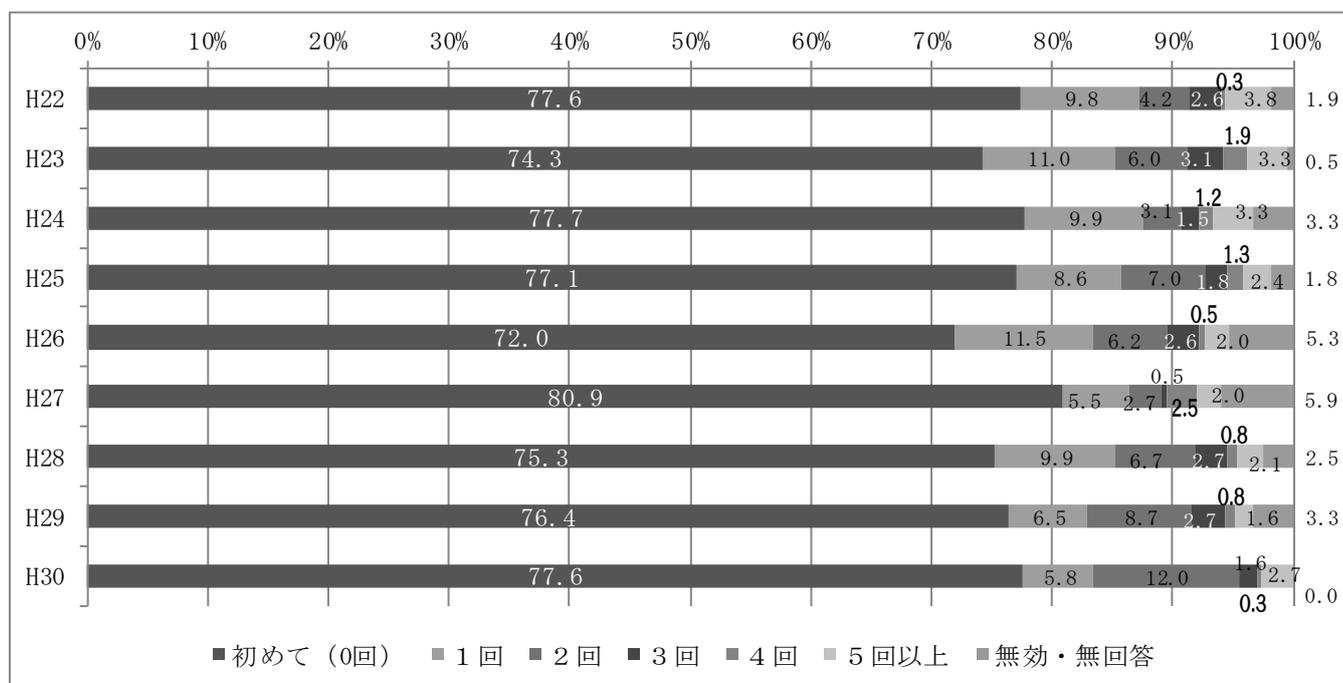
図表 26 大台ヶ原への来訪回数



② うち西大台に来た回数

- ・平成 30 年度の利用者における西大台への来訪回数は、「初めて」(77.6%)が最も多かった。

図表 27 西大台への来訪回数



### 3. ビジターセンターのレクチャーについて

#### (1)長さ[SA]

・平成30年度における事前レクチャーの長さ(時間)については、「ちょうどよい」(96.8%)が最も多かった。

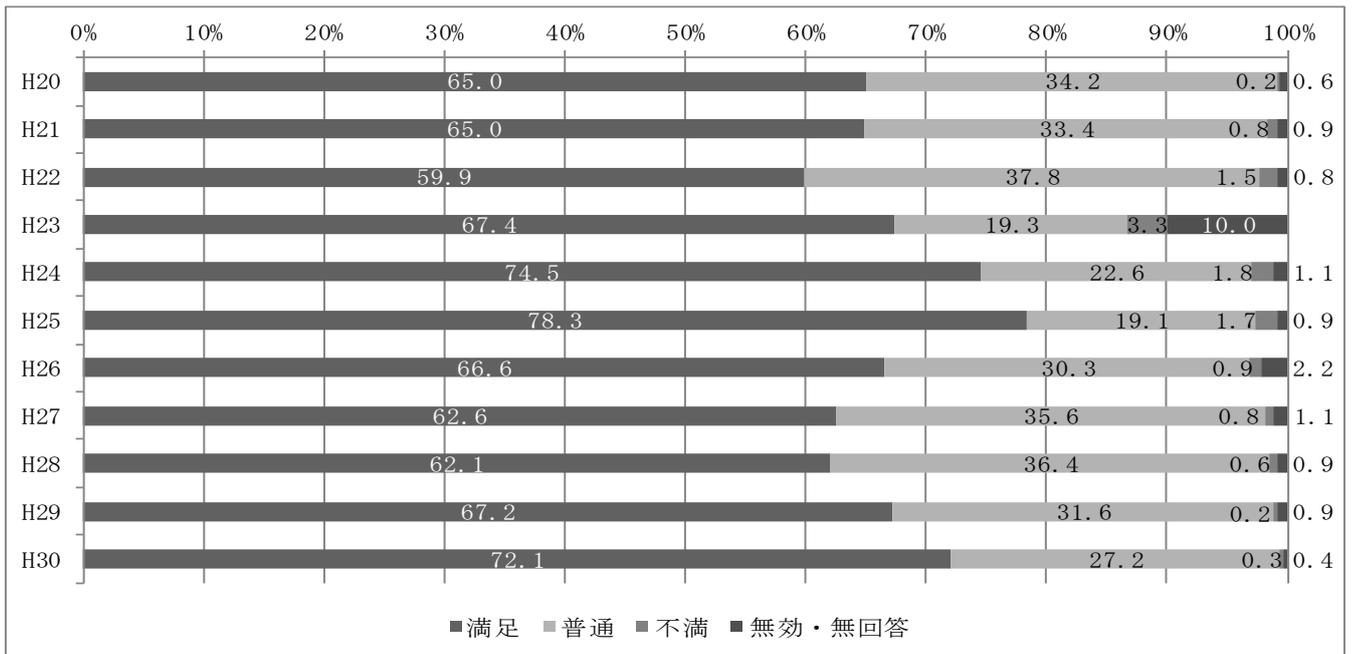
図表 28 事前レクチャーの時間の長さに対する評価



#### (2)内容[SA]

・平成30年度における事前レクチャーの内容については、「満足」が72.1%と最も多く、「普通」が27.2%、「不満」が0.3%であり、概ね満足度は高いと言える。

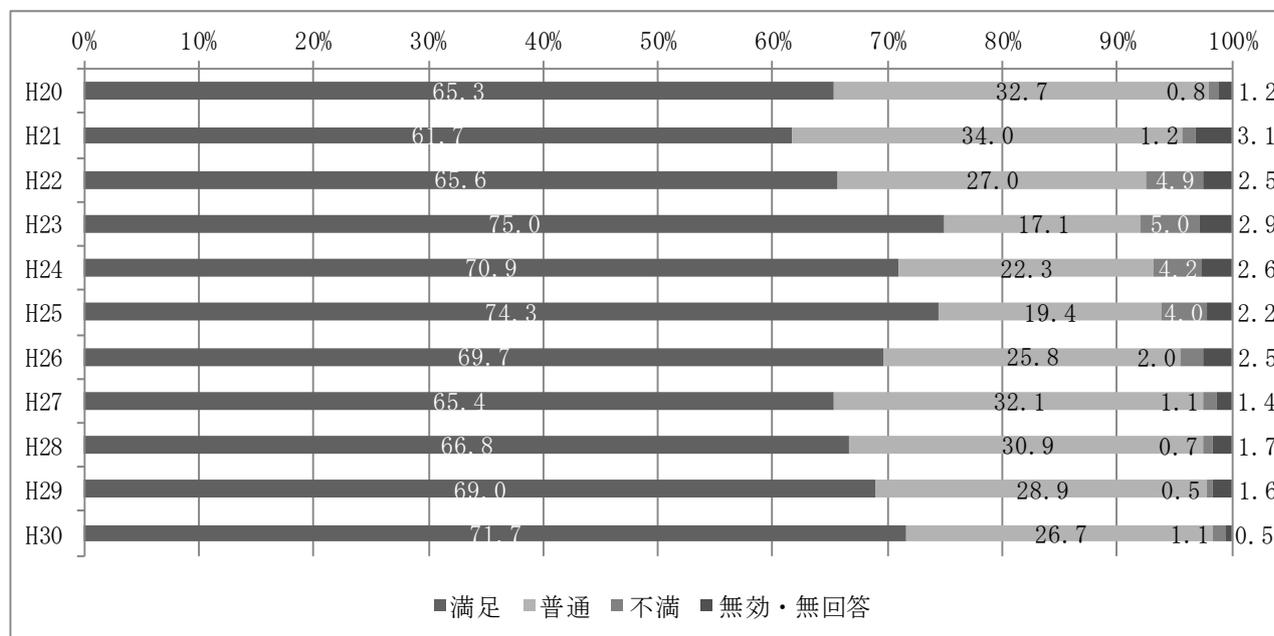
図表 29 事前レクチャーの内容に対する評価



(3) 配布冊子[SA]

- 平成 30 年度の配布冊子の内容については、「満足」が 71.7%と最も多く、「普通」が 26.7%、「不満」が 1.1%であり、レクチャーの内容と同様に、概ね満足度は高いと言える。

図表 30 事前レクチャーの冊子内容に対する評価



(4) レクチャーの内容や配布冊子について不満の理由・改善すべき点[FA]

- 平成 30 年度のレクチャー内容「普通」「不満」と答えた利用者のうち、不満な点あるいは改善すべき点については下記（図表 31）に取りまとめた。

図表 31 レクチャー・冊子の不満点についての自由記述(抜粋)

項目	自由記入
レクチャー／内容	レクチャー内容に地学的、植物、動物等の要素をもう少し加味していただけると嬉しい。
	動植物の説明、地質とか成り立ち、歴史など、気象、色々興味あり、説明が欲しいと思った。
	もっと詳細を知りたい。
	パワポのうち、1・2はなくてもよいと感じた。
	きのこや木の情報がもっとたくさんあれば、さらにたのしいと思います。
	簡易トイレの使い方をここで教えて頂いておいた方がいいです。
	耳が悪いせいか聞き取りにくかったです。マイクを使ってもらえればありがたかったです。
	レクチャーを受けなければいけない内容かと思った。
	もう少し詳しく西大台の良さ、見どころを聞きたかった。
	水量の多い時は（台風、大雨）事前に調べたのなら、見回りの人達によって、石をおいてもらへばうれしいです。レクチャーの時に靴を脱ぐ（川を渡る）とは意外な言葉でした。
	仮設トイレについて。 ¥400 という小銭がいることを事前に知っていれば用意できますが、、、
	生物の情報をもっと知れたらうれしいです。
	レクチャーは良いと思いますが、もう少し簡潔にお願いできればと感じました。

図表 31 レクチャー・冊子の不満点についての自由記述の続き(抜粋)

項目	自由記入
冊子／内容	鳥の鳴声がのってればいいなと思った。
	事前配布してもらえれば良かった。
	特に、P 2 0、P 2 1の内容をレクチャー及びパンフでもう少し詳しく知りたい。
	但し、①ですが事前に冊子配布されるとなお良い。
	この地図のみでは歩けない。渡渉も多いので詳しい地図を添付していただけると有難いです。
	内容から冊子のコンセプトが分かり難い。きれいな冊子は事前にほしい。情報が不十分です。
	立派なカラーの冊子や、バッヂを作るお金があるならもっとお金の使い道を有効に有意義に作用すべき。
	動植物の写真の数を増やして欲しい(少ない)。
	いただいた冊子の地図の所要時間がだいたいわかればよかった。
	七つ池の表示があれば良いかと思います。
	展望所での、大蛇ぐらの位置がわかりにくく、工夫してほしい。
	もう少し詳しい方がありがたい。観てきたキノコのが全然のってなかった
	ガードレール西大台地区側を緑色にする。
	もう少し動植物の写真があれば良い。

(5) その他の意見

- ・レクチャーの時間割等について、その他の自由意見は下記の通りであった。

図表 32 レクチャーについての自由記述

項目	自由記入
その他	どうしても、早く登り始めたい気持ちだが、先立ってしまって長いと感じたが不満はない。
	到着時間遅れで十分な時間が取れなかった。時間の都合で周囲の観察十分に出来なかった。残念だ。
	とても楽しいレクチャーでした。もっと色々知りたいです。
	最終グループで臨時にしてくださいましてありがとうございます。
	30分早めて開始していただきました。ありがとうございます。
	開始時刻を配慮いただきありがとうございます。
	ちょうど良い。待ち時間を覚悟していたところ早めに開始していただけて親切だと思いました。
	9時30分～のつもりを9時～にもらってよかった。
	バスの到着時間にあわせてくれているので便利。
	話を聞くことでよくわかった。マナーなど。
	登山者の都合に配慮下さって、ありがたいことです。
	なし、臨機応変に対応してくださり感謝。
	特記なし。
	レクチャーは、必要だと思いました。ビジターセンターの方々は、とても親切で心がなごみ安心でした。
	30分毎があれば。
	昨夜は車中泊でした。休日なので7時30分からのレクチャーがあり適当でした。
	ちょうどよいと思います。
	東大台の下山に合わせて頂いてありがたかったです。
	開始時刻がHPにのってなくて、微妙な時間の私達の時間に合わせて頂き、ありがとうございます。
	今くらいで良い!
	わかりやすく、ユーモアも交えながら楽しかった。
	とても分かりやすく、楽しかったです。
	レクチャーでのお話、とても楽しくてよかったです。
1 2 時代と 1 3 時もあったほうが助かる。	
今日のレクチャーは、分かりやすく親しみやすくとても良かったです。	

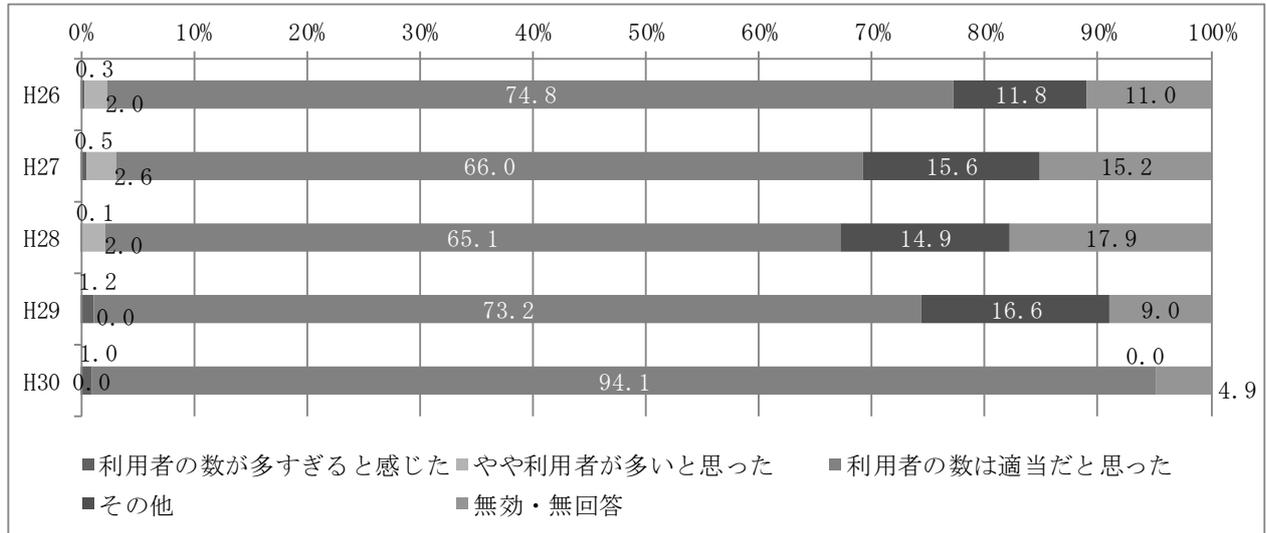
#### 4. 西大台利用調整地区の利用について

##### (1) 利用時における混雑度の印象[SA]

- ・西大台利用調整地区のルートを歩いた際の混雑感については、「利用者の数は適当だと思った」(94.1%)が最も多かった。

※平成29年度からは「やや利用者が多いと思った」という回答が削除されている為、図表33のH29～30には記載していない。

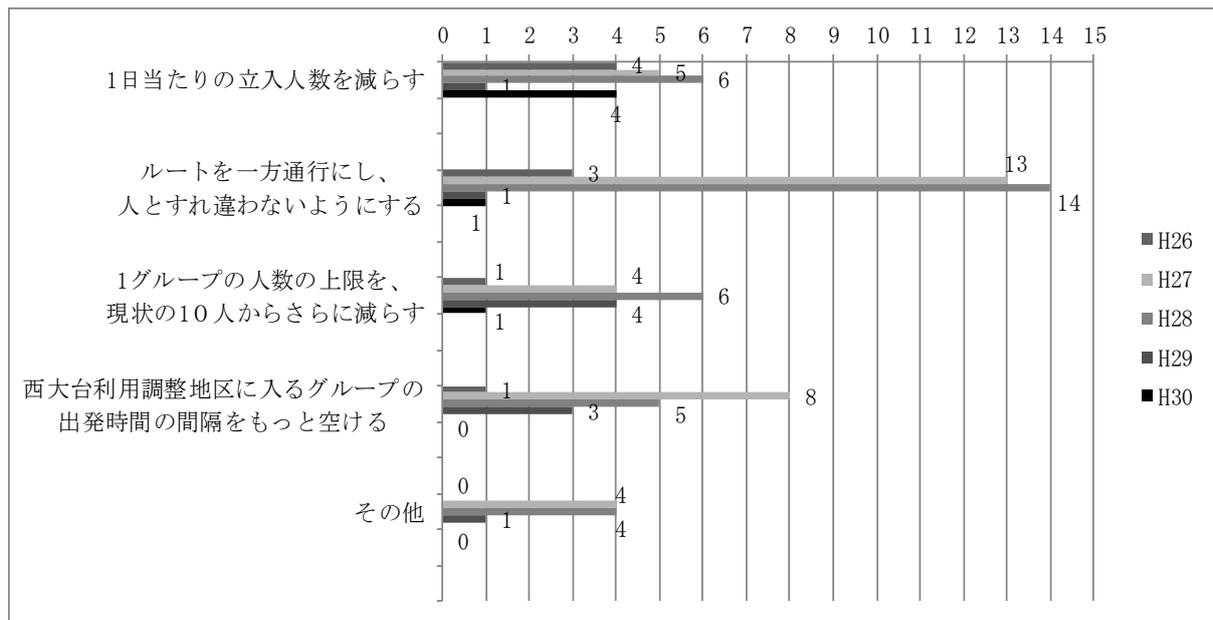
図表 33 利用時における混雑度の印象



##### (2) 混雑対策に対する意見[SA]

- ・「利用者の数が多すぎると感じた」と回答した利用者には、混雑を感じないようにするための対策を尋ねたところ、「1日当たりの立入人数を減らす」が最も多かった(4件)。

図表 34 混雑対策

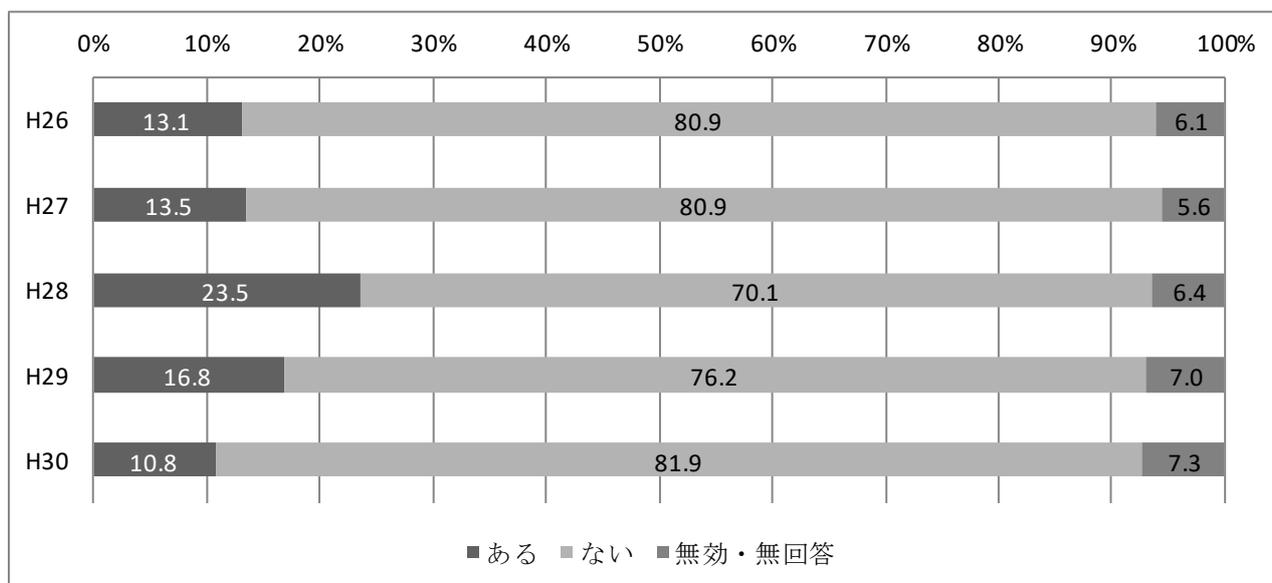


## 5. ガイド利用について

### (1) ガイド利用の経験の有無[SA]

- 平成30年度の利用者において、今回も含めて、大台ヶ原でガイド付きの山歩きをした経緯について尋ねたところ、利用したことが「ある」が10.8%、「ない」が81.9%で、ガイド利用は低いことが伺える。

図表 35 ガイド付きの山歩き・登山の経験



- 大台ヶ原でガイドを利用したことがない理由については、「一人で・自分のペースで歩きたい」(19.7%)が最も多く、「知らなかった」(18.5%)、「グループ・家族で楽しみたい」(5.1%)、「必要ない」(4.7%)と続いた。

図表 36 ガイドを利用したことがない理由

区分	カテゴリー	人	%
1	一人で、自分のペースで歩きたい。	117	19.7
2	知らなかった。	110	18.5
3	グループ・家族で楽しみたい。	30	5.1
4	必要ない。	28	4.7
5	料金が低い。	18	3.0
6	機会がなかった。	12	2.0
7	初めて来た。	11	1.9
8	その他	51	8.6
9	無回答	216	36.4
	計	593	100.0

(2)登録ガイド利用の有無[SA]

・大台ヶ原でのガイド利用経験のある方に、「大台ヶ原登録ガイド」を利用したかどうかを尋ねたところ、「利用した」(51.3%)が最も多く、「登録ガイドであったのかわからない」(26.9%)、「利用していない」(11.5%)と続いた。

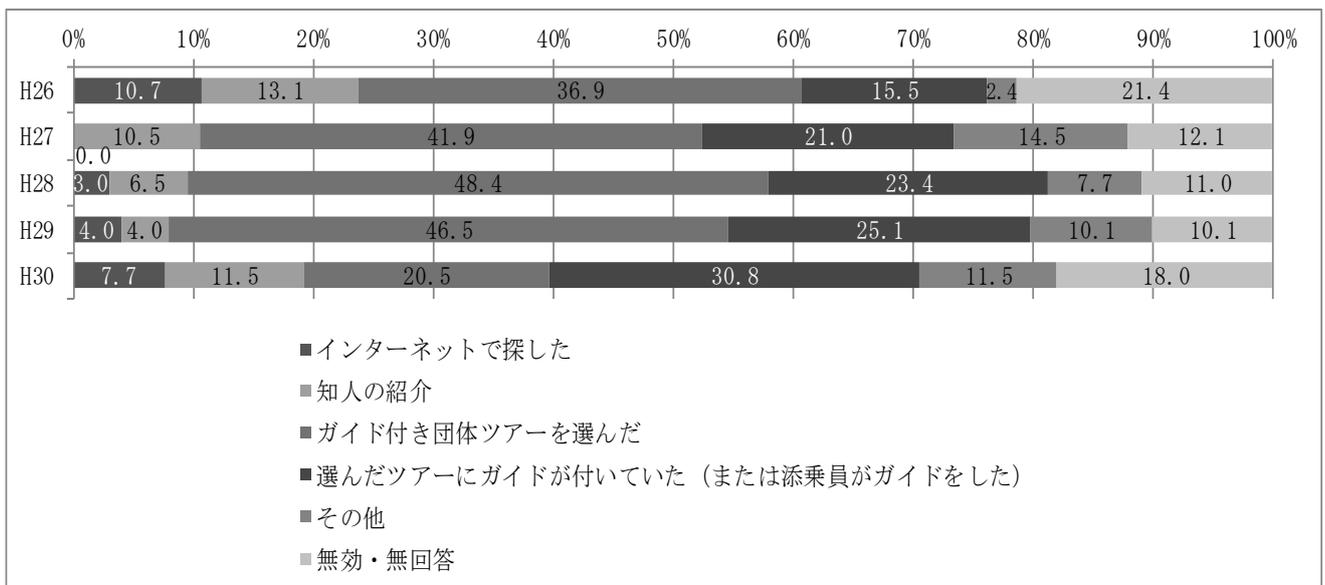
図表 37 大台ヶ原登録ガイドの利用の有無

区分	カテゴリー	人	%
1	利用した	40	51.3
2	利用していない	9	11.5
3	登録ガイドであったのかわからない	21	26.9
4	無効・無回答	8	10.3
	計	78	100.0

(3)ガイドを選んだ経緯[SA]

・平成 30 年度の利用者のうち、大台ヶ原でガイドを利用したと回答した者が、そのガイドを選んだ経緯については、「選んだツアーにガイドがついていた(または添乗員がガイドをした)」(30.8%)が最も多かった。また、「インターネットで探した」「知人の紹介」といった自らガイドを探した者は 19.2%であった。

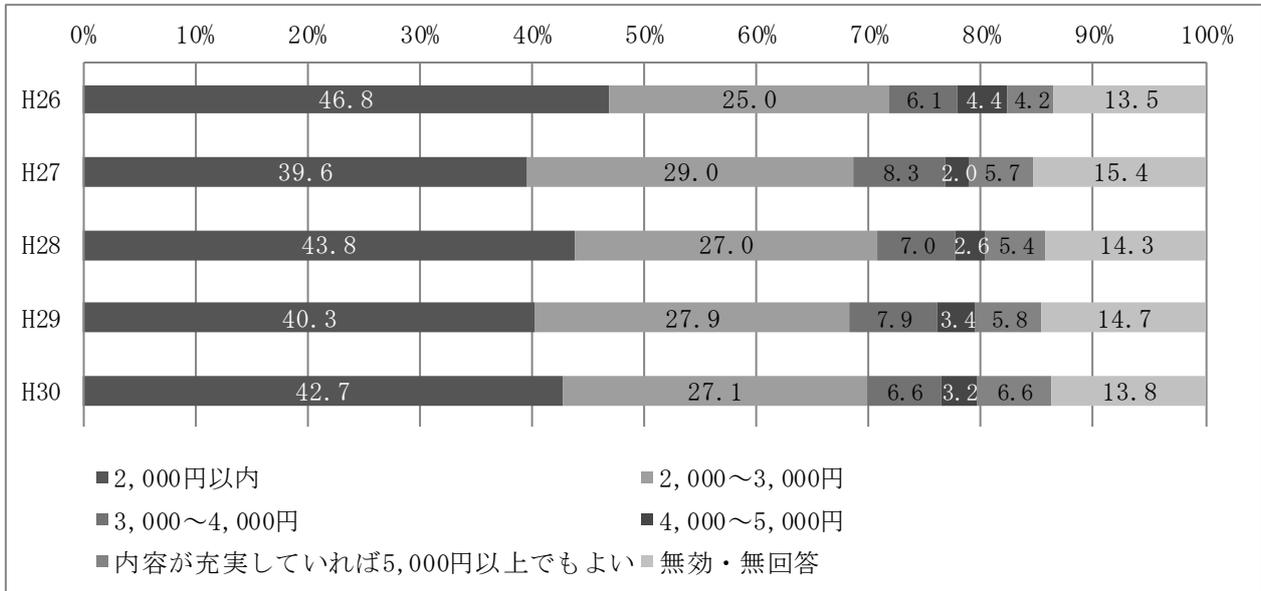
図表 38 ガイドを選んだ経緯



(4) 支払い可能なガイド料金[SA]

・大台ヶ原でガイドを利用するとした場合に、利用者1人当たり支払ってもよいガイド料金を尋ねたところ、平成30年度利用者は「2,000円以内」(42.7%)が最多で、次いで「2,000～3,000円」(27.1%)であった。一方「内容が充実していれば5,000円以上でもよい」は13.8%であった。

図表 39 支払ってもよいガイド料金(大台ヶ原でガイドを利用する場合)



## I. 大台ヶ原登録ガイド制度の概要

## 1. 運営主体

大台ヶ原の利用に関する協議会

## 2. ガイド制度の目的

「大台ヶ原自然再生推進計画 2014」の長期目標である「ワイズユースの山」の実現を目指し、利用者に対してより質の高い自然体験の提供、地元への経済的効果の発現に寄与することを目的とする。

## 3. 対象範囲

登録ガイドとして、ガイドできる範囲は大台ヶ原

## 4. ガイドの定義

有料でガイド事業を行い、大台ヶ原の魅力や自然再生の取組を利用者に伝え、安全で質の高い自然体験の機会を提供することができる知識と技術を有し、かつ第1条の目的に賛同する者とする。

## 5. 登録制

登録制度で、登録要件を満たすことで登録が可能

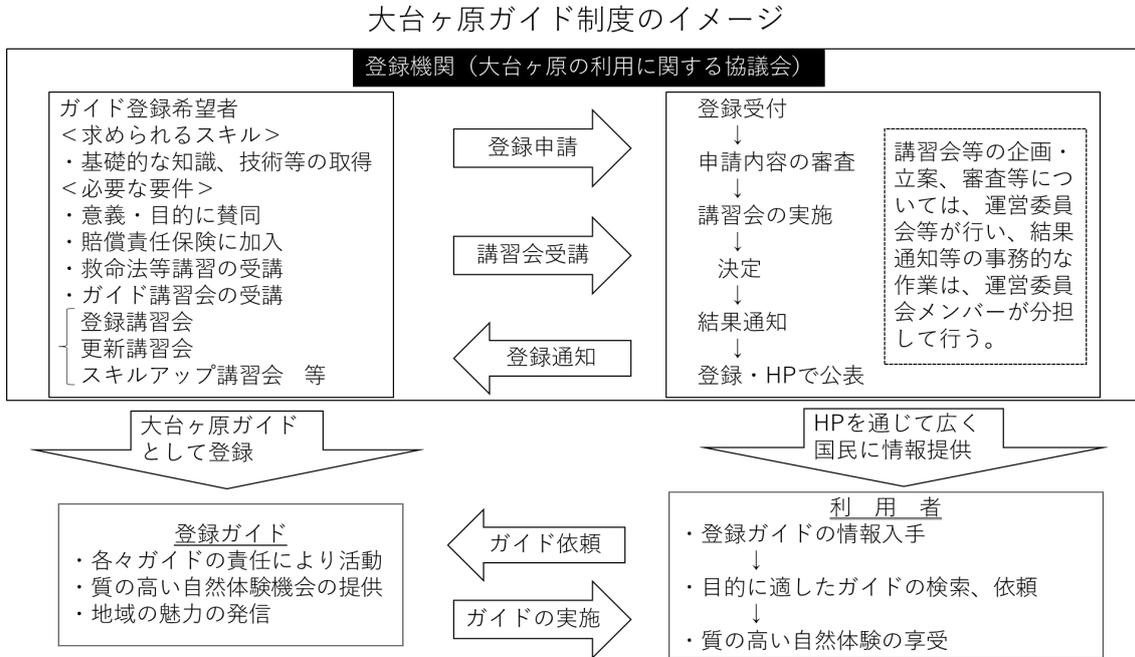
## 6. 登録要件

	項目	提出書類
①	「登録ガイド心得」及び「ガイド共通ルール」に同意すること。	「登録ガイド心得」「ガイド共通ルール」同意書
②	安全にガイドできる知識と技術を有していること	「自然ガイド等に関する資格認定証等の写し及び過去3年以内のガイド実績」又は大台ヶ原の利用に関する協議会の構成機関である国若しくは地方公共団体の長からの推薦状
③	日本赤十字の救急基礎講習、消防等が行っている普通救命講習又はそれに準じる救命に関する受講経験があること	過去3年以内の救命に関する受講経験を証明するものの写し
④	ガイド活動中に賠償責任保険に加入していること	保険証券等の写し
⑤	登録ガイドに関する情報を提供すること	登録ガイド情報
⑥	協議会が実施する登録講習会を受講していること	受講修了証の写し

7. 登録期間、登録料

3年毎に更新。登録料 8000 円/3 年

8. 大台ヶ原ガイド制度のイメージ



9. 登録ガイド制度の検討の経緯

- 平成 17 年頃           : 登録ガイド制度の検討を開始した。
- 平成 27 年～         : 利用 WG と協議会の合同による検討を開始した。
- 平成 28 年～         : ガイド制度の実施要項等の策定をした。
- 平成 29 年 8 月       : 16 名登録
- 平成 29 年 10 月     : 運用開始
- 平成 30 年 2 月      : 7 名登録
- 平成 31 年 2 月      : 8 名登録

※登録ガイド数 31 名（平成 31 年 2 月現在）

## II. 大台ヶ原登録ガイド制度に関する取組事例（未定稿）

区分	事項		実施主体	実施内容	実施年度		備考
	項目	詳細			H29	H30	
基本的な作業	広報	HP	上北山村	開設，運用	●	●	
		チラシ，ポスター	環境省	ガイド向け，一般利用者向け	●	●	平成 30 年度作成中
		PR 動画	環境省	一般利用者向け	●	●	平成 30 年度ネット上にアップ予定
		ガイド各自の HP，ブログなど	登録ガイド	ガイド 8 名がブログまたは Facebook にて大台ヶ原登録ガイドの紹介（平成 31 年 2 月現在）	●	●	
		その他					
	登録	事務，登録講習会	環境省 上北山村	登録に関する照会，申請受付講習会の開催	●	●	平成 30 年度は 8 人が登録
展開作業	ガイドの活用	ガイドツアー	環境省 上北山村 近畿日本鉄道株式会社 奈良交通株式会社	ツアーの実施	●	●	年間 3 回実施
		登録ガイドによる取組	登録ガイド	HP などからの申込受付及びツアーの実施	●	●	
		その他					
	ガイド制度の効果検証	登録ガイドのガイド実績把握	環境省	4～11 月（開山期間）の大台ヶ原でのガイド実績について聞き取りを行った。詳細は別紙のとおり（参考資料 3-1）	●	●	
		登録ガイドへのアンケート	環境省	登録ガイド制度について聞き取りを行った。詳細は別紙のとおり（参考資料 3-2）		●	
		その他					
	登録ガイドのスキルアップ	スキルアップ講習会	環境省 上北山村	大台ヶ原で実施。詳細は別紙のとおり（参考資料 3-3）		●	
		その他					

## III. 大台ヶ原登録ガイド制度の活性化に関する意見及び対応の方向性

課題	意見	対応案の方向性
登録ガイドとしての の依頼が少ない、 一般への一層の周 知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドが同行しなくても登れる山である（登録ガイド）</li> <li>・一般の利用者のネイチャーガイドに対する認知度が低い（登録ガイド）</li> <li>・山岳ガイドとネイチャーガイドの違いを明確にする必要がある（利用 WG 委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ネイチャーガイド」の魅力発信</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社は、登録ガイドよりもこれまで付き合いのあったガイドを選ぶ（登録ガイド）</li> <li>・旅行会社に登録ガイドを利用してもらうツアーの企画を提案する（利用 WG 委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社に対する登録ガイドの PR</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド依頼システムの課題（例：利用者の希望する日にガイドの都合が悪い場合、その日のガイド依頼を断念してしまう）（登録ガイド）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局で受け付けることは想定されていない</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の再検討が必要（登録ガイド, 利用 WG 委員）</li> <li>・広報する対象（ターゲット）を明確にする必要がある（登録ガイド）</li> <li>・中部地方のガイド利用者もいるため、チラシの配布エリアを近畿圏内のみではなく、遠方に配布する（利用 WG 委員）</li> <li>・今後はチラシの内容を見直す必要がある（例：まず大台ヶ原の魅力を伝え、より大台ヶ原を楽しむにはガイドを付けると良い、といった内容）（登録ガイド）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会構成機関と連携した登録ガイドの PR 方法の検討</li> <li>・メディアへの売り込み</li> <li>・広報の対象（ターゲット）の再検討（宿泊を伴う遠方の地域、高所得者等）</li> <li>・登録ガイドと歩くとどのように楽しめるかという情報の発信</li> </ul>
メリットの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腕章の作成など、ガイドであることを一目で周知できるようにする（登録ガイド）</li> <li>・登録ガイドは環境省を始め、多くの機関で推進していることを PR する必要がある（利用 WG 委員）</li> <li>・西大台の事前レクチャーを免除してもらいたい（登録ガイド）</li> <li>・登録ガイド同行時のみ歩くことができるコースの設定の検討（登録ガイド）</li> <li>・ガイド業に資するような情報提供をしてほしい（登録ガイド）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録ガイドと他のガイドとの差別化を図る</li> <li>・一般利用者に対する登録ガイドの PR</li> <li>・登録ガイドに関するレクチャーについて検討する</li> <li>・ガイドのスキルを向上させるような情報発信を図る</li> </ul>

課題	意見	対応案
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド料金の統一について、ガイドによってコースや得意分野が異なるため、統一した料金表示を示すのは難しい（登録ガイド）</li> <li>・利用者の観点からはガイド料の目安が HP に示されている方が利用しやすい（利用 WG 委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金の HP 等への掲載は、登録ガイド制度の運用を行いながら今後慎重に検討</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興も視野にいて、登録ガイド制度の活用方法を検討する必要がある（利用 WG 委員）</li> <li>・地域振興につながる地域の「名物」をつくってほしい。（例：ジビエ料理、宿泊施設等）（登録ガイド）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と共同でツアーの企画を検討</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大台ヶ原を「守りたい」という気持ちで登録ガイドになった（登録ガイド）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録ガイドと連携した保全活動の試みを検討</li> </ul>

冬期通行止めの解除及び  
今後の復旧工事について

奈良県県土マネジメント部

吉 土 第 28-99 号  
平成30年12月 3日

各 関 係 機 関 殿

奈良県吉野土木事務所長

冬期通行止の実施について

このことについて、下記のとおり実施いたしますので通知いたします。  
ご協力よろしく申し上げます。

路 線 名	県道 大台ヶ原公園川上 線
場 所	吉野郡 川上村 大字 伯母谷 地内 から 吉野郡 上北山村 大字 小椽 地内 まで
通行禁止等の期間	自 平成 30年 12月 3日 (月) 15:00 至 平成 31年 4月 19日 (金) 15:00
理 由	冬期通行止めのため
工事等施行機関 並びに連絡先	奈良県吉野土木事務所 TEL 0746-32-4051 ----- 奈良県吉野土木事務所 工務第二課 TEL 07468-2-0098
備 考	○ 交通遮断ゲートにより通行止めを実施します。 ○ ご協力よろしく申し上げます。

# 距離標位置図



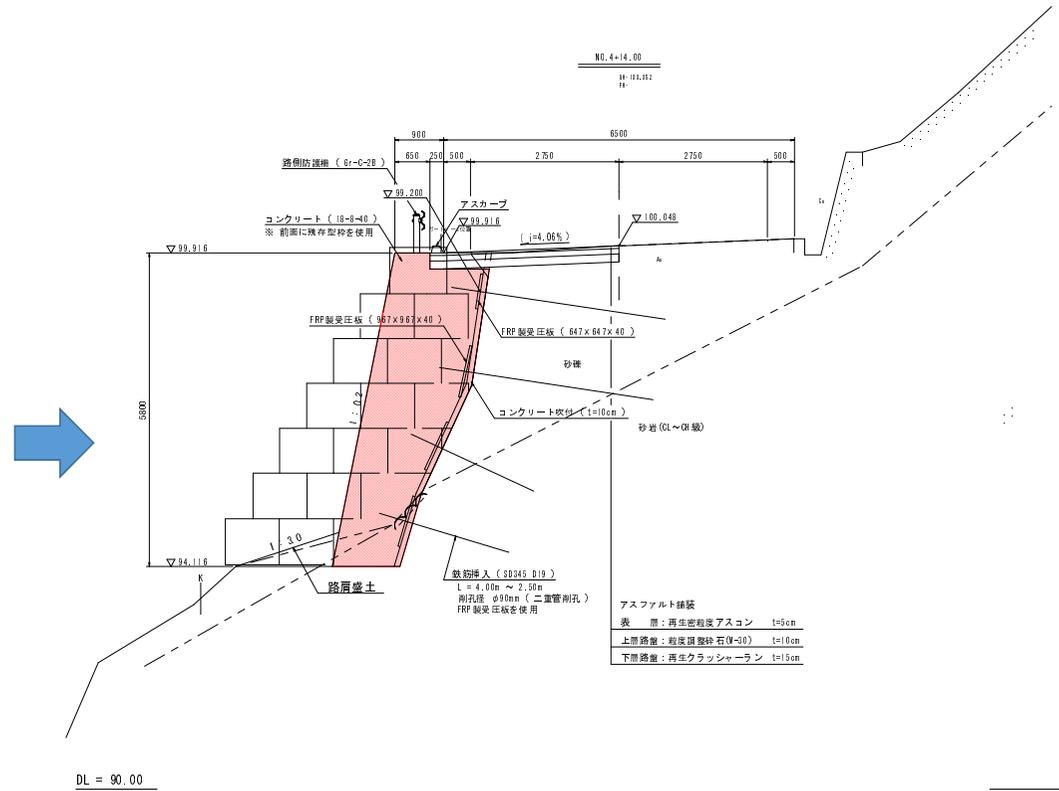
・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平30情複、第12号)  
・この地図を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

# 距離標76付近

## 現況



## 対策イメージ

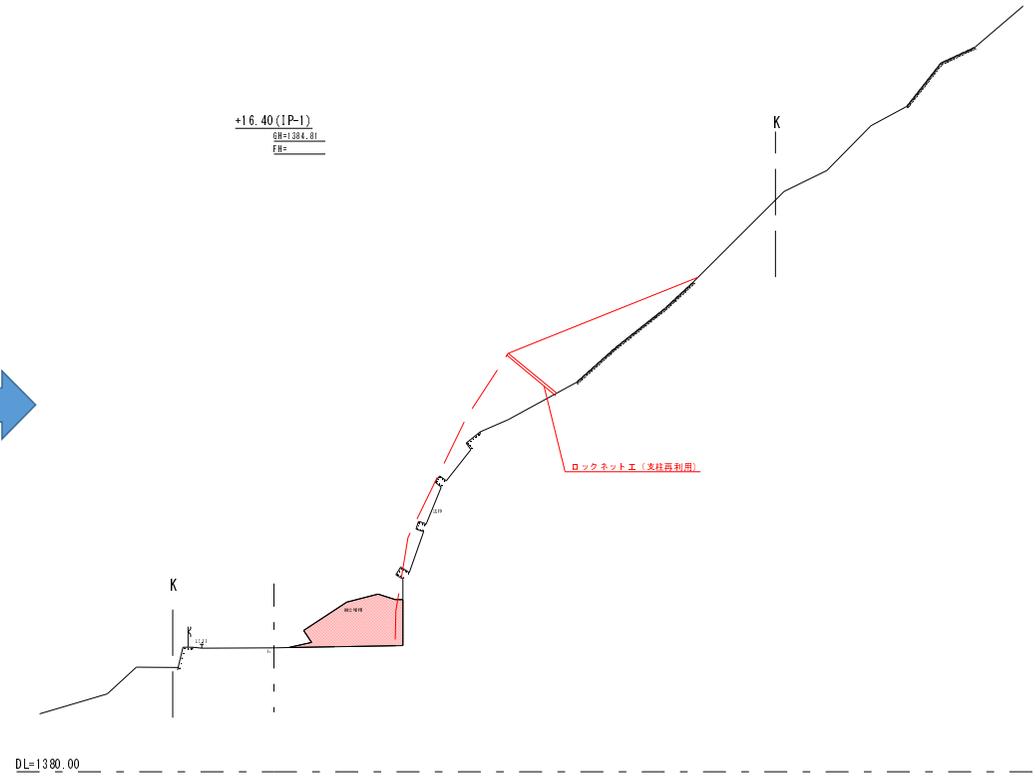


# 距離標86付近

## 現況



## 対策イメージ

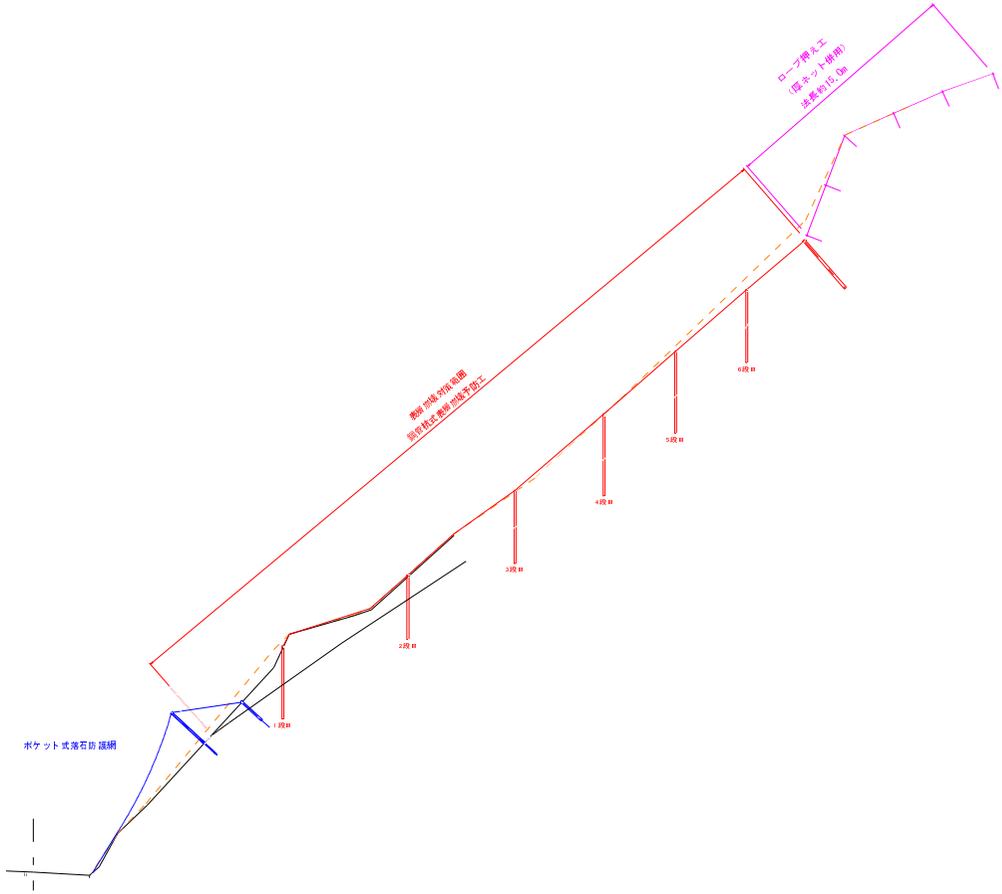


# 距離標147付近

## 現況



## 対策イメージ

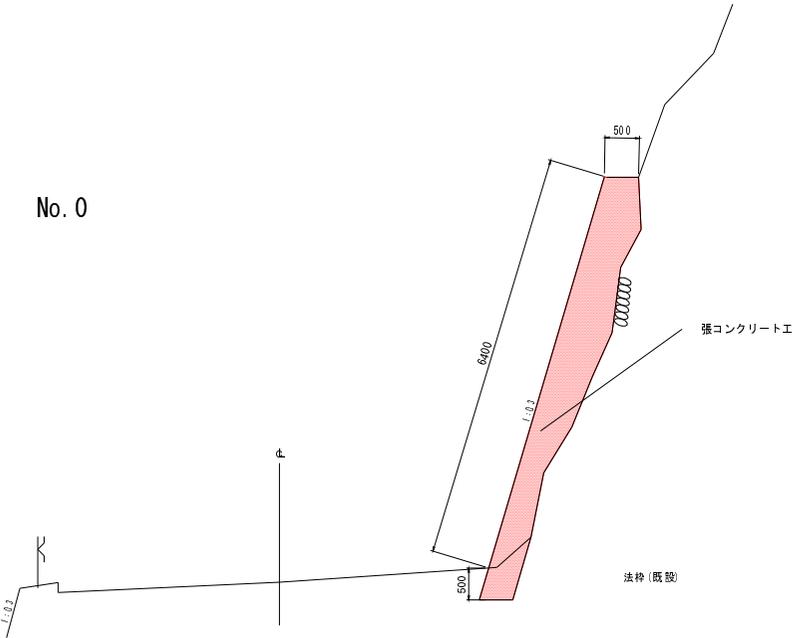


# 距離標147付近

## 現況



## 対策イメージ



西大台利用調整地区の  
携帯トイレブースの利用状況について

特定非営利活動法人

森と人のネットワーク・奈良

I. 平成30年度 西大台地区持ち帰りトイレ利用状況

月	利用数
4月	5
5月	49
6月	55
7月	83
8月	52
9月	55
10月	122
11月	11
合計	432

II. 大台ヶ原の利用に関する課題

- ・西大台歩道 が年々荒れてきており、周回にやや時間がかかるようになってきている
- ・看板が痛んできており、風景的に気になる

# 上北山村役場による大台ヶ原での取組について

上北山村 地域振興課

## 大台ヶ原 取組状況について

事業名	開催日	参加者 (申込者)数	主催
大台ヶ原山開き	4月21日(土)		大台ヶ原山祭り協賛会
第5回大台ヶ原マラソンinかみきた	5月13日(日)	234名 (274名)	アウトドアチャレンジレース実行委員会
環境省ガイドウォーク1回目 ・西大台定員9名 ・東大台定員15名 ・自然再生ツアー一定員15名	7月28日(土)	台風接近 により中止	主催:環境省 共催:上北山村地域活性化イベント実行委員会 (環境省からの委託事業)
環境省ガイドウォーク2回目	8月1日(水)	33名	主催:環境省 共催:上北山村地域活性化イベント実行委員会 (環境省からの委託事業)
第17回ヒルクライム大台ヶ原since2001	9月9日(日)	703名 (844名)	ヒルクライム大台ヶ原since2001実行委員会
環境省ガイドウォーク3回目	9月28日(金)	43名	主催:環境省 共催:上北山村地域活性化イベント実行委員会 (環境省からの委託事業)
心の道ウォーク(西大台～小処温泉)	10月21日(日)	20名	上北山村地域活性化イベント実行委員会

# 大台ヶ原探勝日帰りきっぷについて

近畿日本鉄道株式会社

2019年2月19日  
近畿日本鉄道株式会社

大台ヶ原の利用に関する協議会の発表内容について

近鉄では、大台ヶ原への旅客誘致を図るため、「大台ヶ原探勝日帰りきっぷ」を発売しました。

内容としましては、「近鉄各駅から大和上市駅までの往復乗車券」、「大和上市駅から大台ヶ原までの奈良交通バス往復割引乗車券」、「大台ヶ原物産展での記念品引換券」がセットになっております。

発売期間は、2018年4月1日（日）～2018年11月25日（日）  
利用期間は、2018年4月21日（土）からです。

合計で大人2,037枚、こども15枚発売いたしました。

7、8月は台風等の天候不良の影響により発売が伸び悩みましたが、10月は天候に恵まれ好調に推移し、全体の発売実績としては昨年並みとなりました。

2019年度についても、現在上北山村役場様、奈良交通様と連携し発売に向け調整しております。

以上

## 「協議会情報」の共有について

奈良県勤労者山岳連盟



H28 年度 第 1 回大台ヶ原の利用に関する協議会報告

11/30 奈良商工会館

## 【大台ヶ原登録ガイド制度について】

→大台ヶ原におけるガイド制度導入は『大台ヶ原自然再生推進計画 2014』の長期目標である「ワイズユースの山」の実現を目指し、利用者に対してより質の高い自然体験の提供と地元への経済的効果に寄与することを目的に行われます。

具体的には①自然環境の保全に関する普及啓発 ②安全安心な自然体験の機会の提供 ③利用マナーの普及による環境への負荷軽減等々・・・環境保全へのプラス効果が期待されるもので 現在行われている西大台の事前レクチャーに加え、ガイドによる現地案内という選択肢が増えることとなります。

来年4月スタートに向けて、ガイドの登録要件の養成講習を含む細かな制度の仕組みをどうするか今後も意見交換、検討が続けられます。この制度の対象範囲は、西大台利用調整区域及び東大台(定められた対象範囲内のみ)で、入山時に必ずガイドを付けなければならないというものではありません。

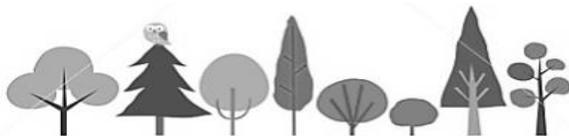
## 【東大台における携帯トイレブース設置に関する試行調査結果報告について】

→東大台は登山客だけでなく一般観光客が多く、利用者から潜在的な要望があるトイレ設置について検討するため8~10月の入山者の多い15日間、尾鷲辻で簡易テントを用いて行われました。利用率は低かったのですが、アンケートでは「トイレブースは必要」という意見が多く寄せられていました。

→当会からは①夏場の大台の気温は以前と比べると高く、水分を控えようとする行動は、熱中症を引き起こす要因になる、また持病を抱えるシニア世代登山者の遭難事故につながる為、トイレがあると安心、安全 ②森林が衰退し、シカの採食圧でデブーラインが広がる状況では安心してトイレする場所がない。(特に)女性の立場から、安心・安全な携帯トイレブースの設置は必要 ③森林の衰退が進む大台でこれ以上、環境に負荷をかけない利用を考えるべきと伝えました。

トイレ問題は、登山者と山にとって切実な問題です。

皆様のご意見も是非、聴かせて下さい！



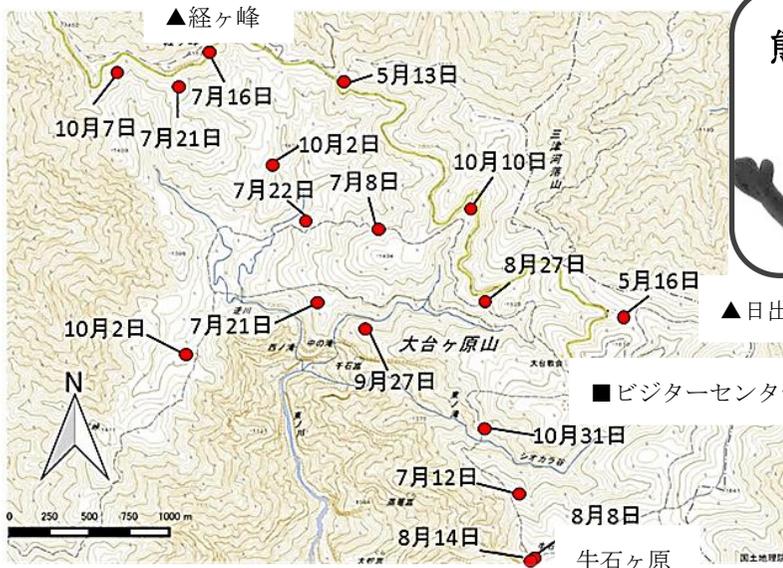


# みずなら

自然保護のページ

2017/4

H28年度 第2回大台ヶ原の利用に関する協議会報告 3/3(金)



熊 出没注意！



熊避け鈴を  
持って  
出かけてね！

記・高橋

今回は、山行時に参考になる事を3項目。①大台ヶ原周辺でツキノワグマが出没しているので注意して下さい。②利用ピーク時の駐車場混雑状況等は近畿地方環境事務所 HP で情報が得られます。③平成20年からの調査で苔類の衰退が進んでいるとの報告がありました。コケを傷つけないように行動しましょう。

\*\*\*\*\*

★毎回の『協議会情報』を会報に掲載し、情報共有を図っています。協議会の取り組みは、広い意味で私たち登山者への自然保全の啓発を担っています。

大台ではありませんが、県下の山で取り組んだ清掃登山で水溶性ティッシュを配布してトイレ問題をアピールしました。

## 自然にやさしい トイレマナー ♪

ティッシュは 自然に優しい水溶性のものを  
持ち帰りましょう

山では  
携帯トイレを  
使いましょう。



ふるさとの自然を守り育てよう

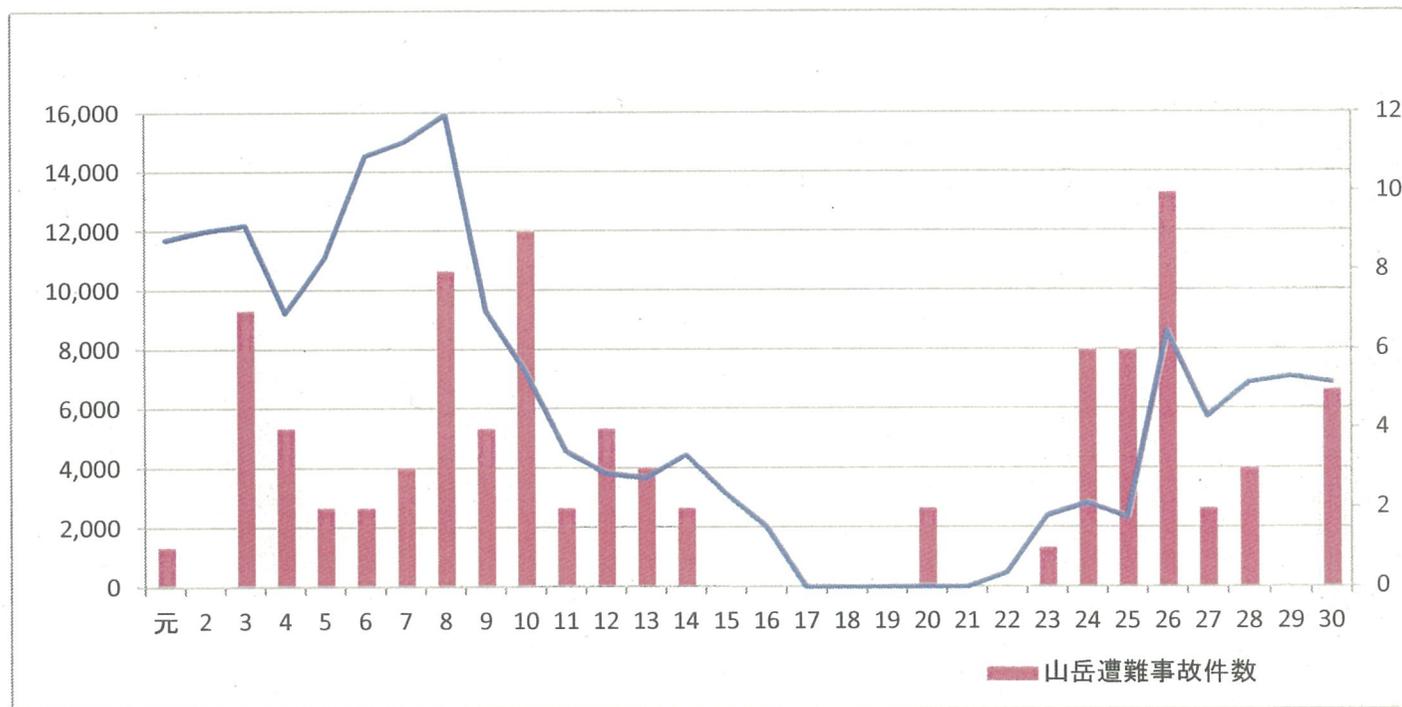


大杉谷登山道の利用状況について  
(大台町、大杉谷登山センター)

大台町 産業課

# 山岳遭難事故発生件数と入山者数(大杉谷登山歩道)

年 度			合計 (件)	合計(人)
平成	元	年	1	11,700
"	2	年	0	12,000
"	3	年	7	12,200
"	4	年	4	9,230
"	5	年	2	11,100
"	6	年	2	14,540
"	7	年	3	15,037
"	8	年	8	15,936
"	9	年	4	9,319
"	10	年	9	7,247
"	11	年	2	4,571
"	12	年	4	3,828
"	13	年	3	3,667
"	14	年	2	4,456
"	15	年	0	3,131
"	16	年	0	2,032
"	17	年	0	—
"	18	年	0	—
"	19	年	0	—
"	20	年	2	—
"	21	年	0	—
"	22	年	0	483
"	23	年	1	2,405
"	24	年	6	2,824
"	25	年	6	2,340
"	26	年	10	8,604
"	27	年	2	5,721
"	28	年	3	6,881
"	29	年	0	7,080
"	30	年	5	6,889



大台ヶ原における適正利用の推進、  
自然再生の周知等に関する取組

環境省近畿地方環境事務所

## 大台ヶ原における適正利用の推進、自然再生の周知等に関する取組

### 1. 大台ヶ原における適正利用の推進等に関する取組

大台ヶ原の快適で適正な利用を推進するため、以下の取組みを実施した。

#### (1) 多様な利用への対応の取組みについて

##### 1) 西大台利用調整地区に関する事前レクチャー用映像の作成

利用調整地区に立ち入るためには、大台ヶ原ビジターセンターにおいて大台ヶ原の自然、注意事項等にかかる事前レクチャーを受講する必要があり、これまで口頭で説明を行ってきたが、利用者の理解をより深め、安全性の確保向上を図るために映像化を行った。

##### 2) 大台ヶ原登録ガイド付き利用の普及啓発用映像の作成

平成29年度から運用が開始された大台ヶ原登録ガイドの周知を図るため、登録ガイドを付けるメリットや利用方法について説明した3分程度の映像を作成した。今後、近畿地方環境事務所HP等に掲載し、広く周知を図っていく予定。

	
事前レクチャー用映像の作成	登録ガイドの普及啓発用映像の作成

#### (2) 施設の管理

##### 1) 稚樹保護柵のササ刈り

東大台ヶ原に設置された稚樹保護柵において、トウヒ等の稚樹の生育の支障となっているミヤコザサの刈り払いをパークボランティアと実施した。

##### 2) 大規模防鹿柵の土砂掻き

西大台・東大台に設置された大規模防鹿柵において、施設の損傷に繋がる堆積土砂の除去をパークボランティアと実施した。

##### 3) その他

歩道の補修や清掃等をパークボランティアと実施した。

	
<p>稚樹保護柵のササ刈り</p>	<p>大規模防鹿柵の土砂掻き</p>
	
<p>木道のペンキ塗り作業</p>	<p>標識の清掃作業</p>

## 2. 大台ヶ原における自然再生等の周知に関する取組

大台ヶ原の自然や自然再生事業の取組みを深く、知ってもらうことを目的に、以下の行事等を実施した。

### (1) 「神秘の森 荘厳の山 大台ヶ原を歩く」について

#### 1) 実施日

平成30年8月1日(水)、9月28日(金)

※他に予定していた7月28日(土)は台風接近により中止

#### 2) 実施体制

主催：近畿地方環境事務所、共催：上北山村

協力：近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社

#### 3) 内容

2日間とも東・西大台、自然再生ガイドウォークの3コースを設定し、それぞれ定員15名、18名(9名×2班)、15名とし、東・西大台ガイドウォークは地元のガイド(登録ガイド含む)が案内、自然再生ガイドウォークは専門家(自然再生事業の委員)が解説を行った。2日間合計で77名の参加があった。



西大台ガイドウォークの様子



自然再生ガイドウォークの様子

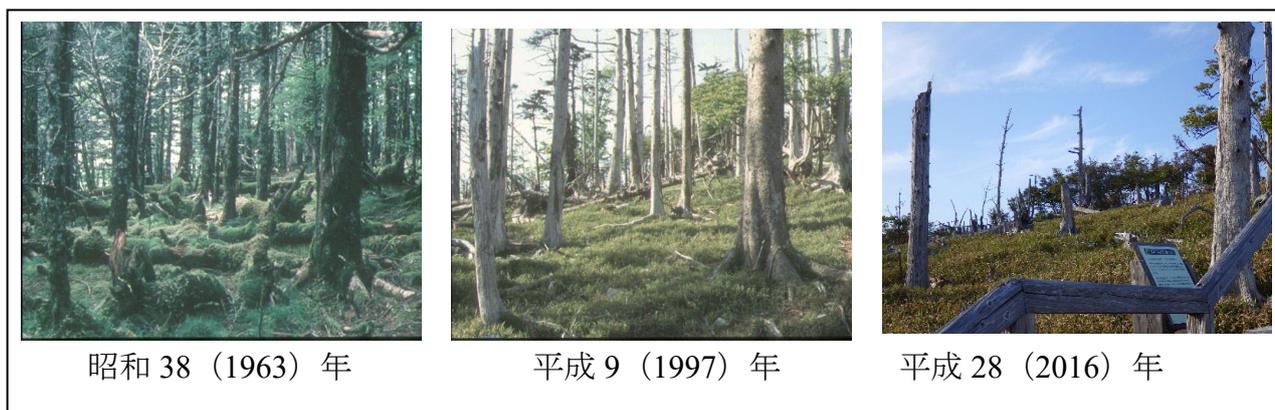
(2) その他

アクティブレジャーやパークボランティアによる自然観察会を5回実施し、自然再生の取組みや大台ヶ原の自然、山の日記念行事などを解説した。合計89名（うち親子連れ17組）の参加があった。

## 平成30年度大台ヶ原自然再生事業の取組

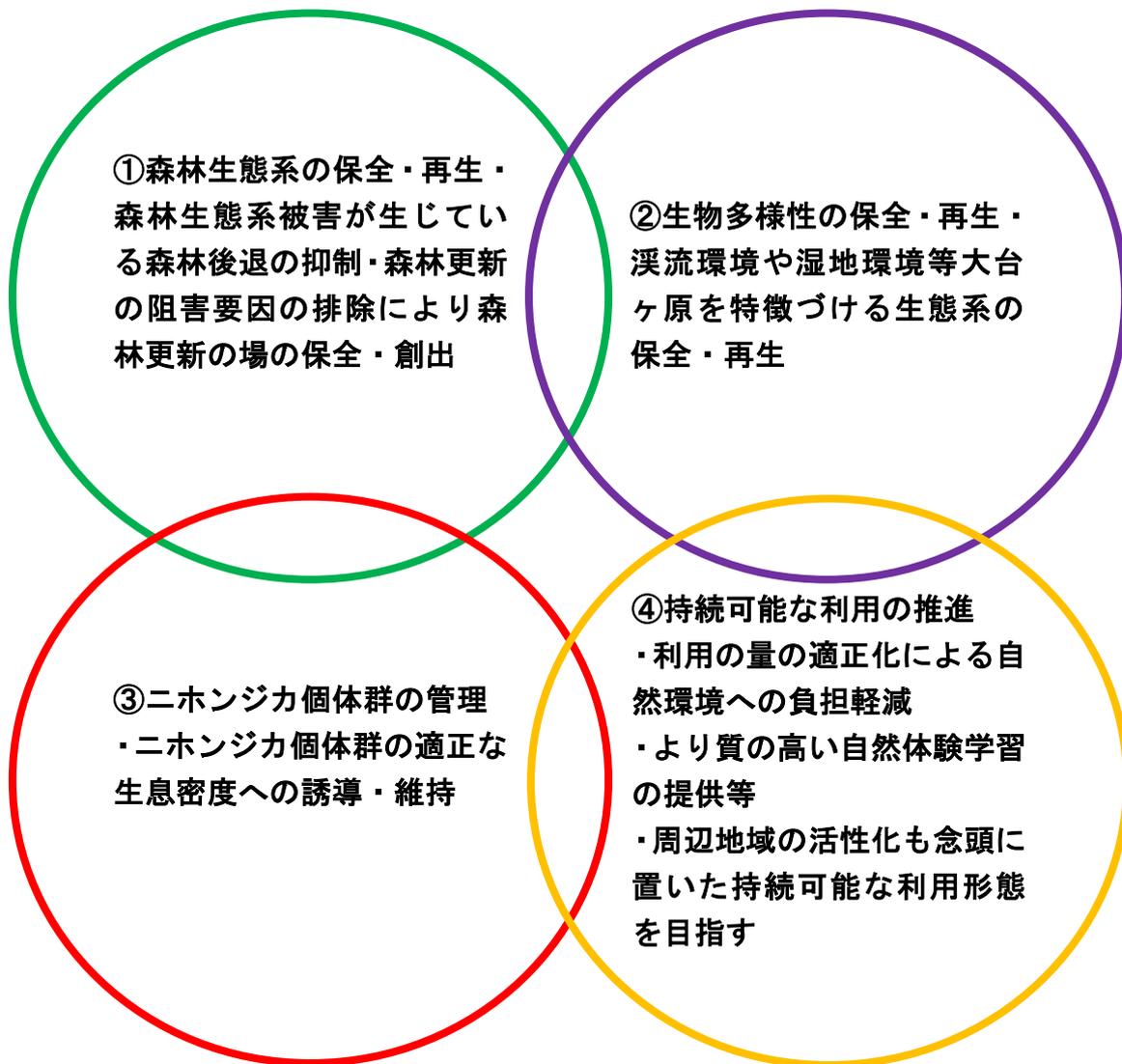
## 1. 「大台ヶ原自然再生推進計画2014」の長期目標

現存する森林生態系の保全を図るとともに、天然更新により後継樹が健全に生育されていた昭和30年前半までの状況をひとつの目安として、豊かな動植物からなる質の高い森林生態系の再生を目指すとともに利用との両立を図る。



## 2. 今後 20 年程度の取組の方向性

大台ヶ原自然再生推進計画 2014 に基づき 4 つの柱からなる事業を実施



### 3. 大台ヶ原自然再生推進計画 2014 の点検等について

#### (1) 目的

大台ヶ原では、平成 17 年 1 月に策定した「大台ヶ原自然再生推進計画」に基づき、自然再生の各種取組を開始し、現在は平成 25 年度に策定した第 3 期計画「大台ヶ原自然再生推進計画 2014」（以下、「2014 計画」という。）に基づき、平成 26 年度から各種取組を進めている。2014 計画は、5 年間（平成 26～30 年度）の取組結果を評価し、その内容を見直し、次期（平成 31 年度～）の取組内容を取りまとめることとなっている。

平成 29 年度は非公開の意見交換会として 3 回実施、平成 30 年度は点検等ワーキンググループとして 4 回の開催を行い年度内に取りまとめる計画である。

#### (2) 取りまとめ内容

- ・ 2014 計画の 5 年間の取組内容の整理・評価等

継続することとなったモニタリングおよび新たに実施が必要となる取組のモニタリングについて、2014 計画期間中のモニタリングスケジュールを 2014 計画の点検（評価）、特定計画の見直しのタイミング等を勘案し、年度ごとの費用が平準化するように検討する。

- ・ 2014 計画の取組内容の点検等の基本的な考え方（基本方針案）の作成

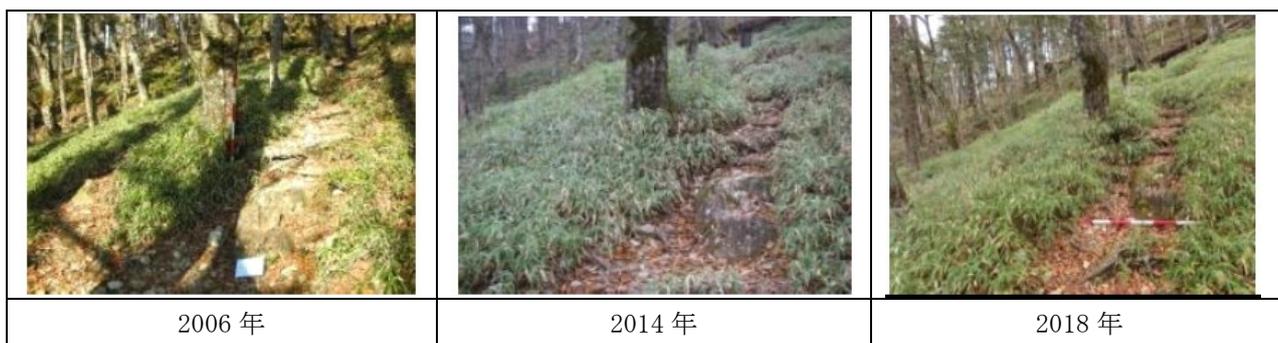
平成 30 年度末の次期の取組内容の取りまとめのため、見直し作業に関する基本的な考え方（基本方針案）を作成する。

#### 4. 「持続可能な利用の推進」に対する取組の点検(評価)

利用調整地区制度は、開始から10年以上が経過したが、順調に運用されており、西大台では、人の利用による自然環境への影響は低減していると考えられる。また、2014計画期間内にガイド制が導入されたことは評価できるが、今後は制度として地域に定着できるよう、関係機関と連携し、ガイド制度の利用の増加を図るとともに、東大台を含めた利用の適正化について検討を進める必要がある。また、大台ヶ原は、大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークの核心地域であることから、上北山村を含めた周辺地域と合わせた利用の推進についての取組を進めることが課題となる。

##### (1) 西大台の歩道の複線化

西大台については、歩行範囲の固定や、利用調整地区制度の浸透により、歩道外への踏み込みは減少したと考えられ、人による歩道の複線化や、植生への影響は低減している。近年、明らかな希少植物の盗採は確認されていないため、希少植物のモニタリングは一旦終了とするが、巡視員や職員による監視は常時継続する。



◆複線化はほぼ解消し、ミヤコザサは回復傾向である。

西大台の歩道の複線化の状況の変化

##### (2) 登録ガイド制度

登録ガイド制度が開始されたこと、登録ガイドのためのガイドテキストを作成したことは大きな成果である。今後は、制度として地域に定着できるよう、関係機関と連携し、ガイド制度の利用の増加を目指した取組や、ガイドのスキルアップ講習等の取組の充実を検討する。



大台ヶ原登録ガイド

申請に関するお問い合わせ・申請書の提出先  
上北山村観光協会  
〒639-3701  
奈良県吉野郡上北山村大字明合330番地  
電話：07469-2-0001

ガイド制度そのお問い合わせ  
近畿地方福徳事務所 国立公園課  
電話：06-4792-0704  
西野自然保護管理事務所  
電話：0746-34-2202

登録ガイド制度の紹介 | 登録ガイド一覧 (利用者の方向け) | 登録ガイドになるには (ガイドの方向け) | 登録のスケジュール (ガイドの方向け) | 大台ヶ原の利用に関する協議会とは

登録ガイドと一緒に大台ヶ原を楽しみませんか。

大台ヶ原登録ガイドHP

(<http://vill.kamikitayama.nara.jp/guide/>)

目次

1. 大台ヶ原の自然環境 1

2. 大台ヶ原の歴史 2

3. 大台ヶ原の自然環境 3

4. 大台ヶ原の自然環境 4

5. 大台ヶ原の自然環境 5

6. 大台ヶ原の自然環境 6

7. 大台ヶ原の自然環境 7

8. 大台ヶ原の自然環境 8

9. 大台ヶ原の自然環境 9

10. 大台ヶ原の自然環境 10

11. 大台ヶ原の自然環境 11

12. 大台ヶ原の自然環境 12

13. 大台ヶ原の自然環境 13

14. 大台ヶ原の自然環境 14

15. 大台ヶ原の自然環境 15

16. 大台ヶ原の自然環境 16

17. 大台ヶ原の自然環境 17

18. 大台ヶ原の自然環境 18

19. 大台ヶ原の自然環境 19

20. 大台ヶ原の自然環境 20

21. 大台ヶ原の自然環境 21

22. 大台ヶ原の自然環境 22

23. 大台ヶ原の自然環境 23

24. 大台ヶ原の自然環境 24

25. 大台ヶ原の自然環境 25

26. 大台ヶ原の自然環境 26

27. 大台ヶ原の自然環境 27

28. 大台ヶ原の自然環境 28

29. 大台ヶ原の自然環境 29

30. 大台ヶ原の自然環境 30

31. 大台ヶ原の自然環境 31

32. 大台ヶ原の自然環境 32

33. 大台ヶ原の自然環境 33

34. 大台ヶ原の自然環境 34

35. 大台ヶ原の自然環境 35

36. 大台ヶ原の自然環境 36

37. 大台ヶ原の自然環境 37

38. 大台ヶ原の自然環境 38

39. 大台ヶ原の自然環境 39

40. 大台ヶ原の自然環境 40

41. 大台ヶ原の自然環境 41

42. 大台ヶ原の自然環境 42

43. 大台ヶ原の自然環境 43

44. 大台ヶ原の自然環境 44

45. 大台ヶ原の自然環境 45

46. 大台ヶ原の自然環境 46

47. 大台ヶ原の自然環境 47

48. 大台ヶ原の自然環境 48

49. 大台ヶ原の自然環境 49

50. 大台ヶ原の自然環境 50

1. 大台ヶ原の自然環境 51

(1) 大台ヶ原の自然環境 51

(2) 大台ヶ原の自然環境 52

2. 大台ヶ原の自然環境 53

(1) 大台ヶ原の自然環境 53

(2) 大台ヶ原の自然環境 54

(3) 大台ヶ原の自然環境 55

(4) 大台ヶ原の自然環境 56

3. 大台ヶ原の自然環境 57

4. 大台ヶ原の自然環境 58

5. 大台ヶ原の自然環境 59

6. 大台ヶ原の自然環境 60

7. 大台ヶ原の自然環境 61

8. 大台ヶ原の自然環境 62

9. 大台ヶ原の自然環境 63

10. 大台ヶ原の自然環境 64

11. 大台ヶ原の自然環境 65

12. 大台ヶ原の自然環境 66

13. 大台ヶ原の自然環境 67

14. 大台ヶ原の自然環境 68

15. 大台ヶ原の自然環境 69

16. 大台ヶ原の自然環境 70

17. 大台ヶ原の自然環境 71

18. 大台ヶ原の自然環境 72

19. 大台ヶ原の自然環境 73

20. 大台ヶ原の自然環境 74

21. 大台ヶ原の自然環境 75

22. 大台ヶ原の自然環境 76

23. 大台ヶ原の自然環境 77

24. 大台ヶ原の自然環境 78

25. 大台ヶ原の自然環境 79

26. 大台ヶ原の自然環境 80

27. 大台ヶ原の自然環境 81

28. 大台ヶ原の自然環境 82

29. 大台ヶ原の自然環境 83

30. 大台ヶ原の自然環境 84

31. 大台ヶ原の自然環境 85

32. 大台ヶ原の自然環境 86

33. 大台ヶ原の自然環境 87

34. 大台ヶ原の自然環境 88

35. 大台ヶ原の自然環境 89

36. 大台ヶ原の自然環境 90

37. 大台ヶ原の自然環境 91

38. 大台ヶ原の自然環境 92

39. 大台ヶ原の自然環境 93

40. 大台ヶ原の自然環境 94

41. 大台ヶ原の自然環境 95

42. 大台ヶ原の自然環境 96

43. 大台ヶ原の自然環境 97

44. 大台ヶ原の自然環境 98

45. 大台ヶ原の自然環境 99

46. 大台ヶ原の自然環境 100



テキストは安全管理、大台ヶ原における利用のルール、自然環境、歴史的背景、自然再生への取組などについて解説されている。

大台ヶ原登録ガイドテキスト（平成 29(2017)年、環境省・近畿地方環境事務所）

(3) 自然体験学習プログラム

自然体験学習プログラムとして、森林再生活動を行うボランティアイベント、アクティブレジャー等による自然観察会、大台ヶ原ガイドウォークなどを実施しており、これからも引き続き実施していく。今後は、大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークと関連した自然体験学習プログラム等の実施についても検討する必要がある。また、環境省以外の様々な主体による自然体験学習プログラムの実施や、情報発信状況などを把握し、連携していくことが大切である。



ボランティアイベント（森林再生応援団）による稚樹保護柵内での坪刈り作業

大台ヶ原ガイドウォーク

大学の實習による剥皮防止用ネット設置作業

パークボランティアによる歩道整備作業

5. ニホンジカの生息状況調査について<中間報告>

(1) 捕獲数

平成 30 (2018) 年度の捕獲数実績は 66 頭であり捕獲目標レベル①の 111 頭には達せず、推定生息数は目標生息数まで低減しなかった。

表 平成 30 (2018) 年度のシミュレーション結果

パターン	捕獲目標レベル	捕獲数	うち成獣メス数
①	目標レベル①	111 頭	32 頭
②	目標レベル②	134 頭	39 頭
③	目標レベル③	190 頭	55 頭
④	目標レベル④	221 頭	64 頭

(2) 結果

全地点の平均生息密度は 12.3 頭/km<sup>2</sup>であり、平成 29 (2017) 年度の 9.0 頭/km<sup>2</sup>と比べて増加した結果となった。

地区別では、東大台地区では平成 29 (2017) 年度が 16.5 頭/km<sup>2</sup>だったのに対し、今年度は 27.4 頭/km<sup>2</sup>と大幅に増加した。西大台地区では平成 29 (2017) 年度が 6.1 頭/km<sup>2</sup>だったのに対し、今年度は 9.1 頭/km<sup>2</sup>と増加した。

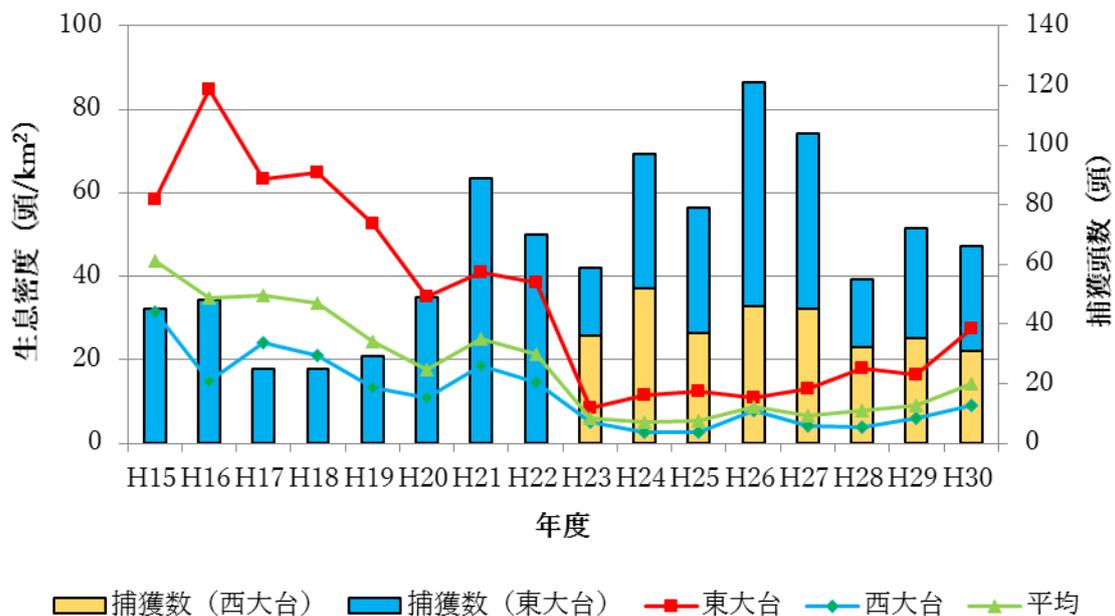


図 糞粒法による緊急対策地区における生息密度結果の推移 (地区別)

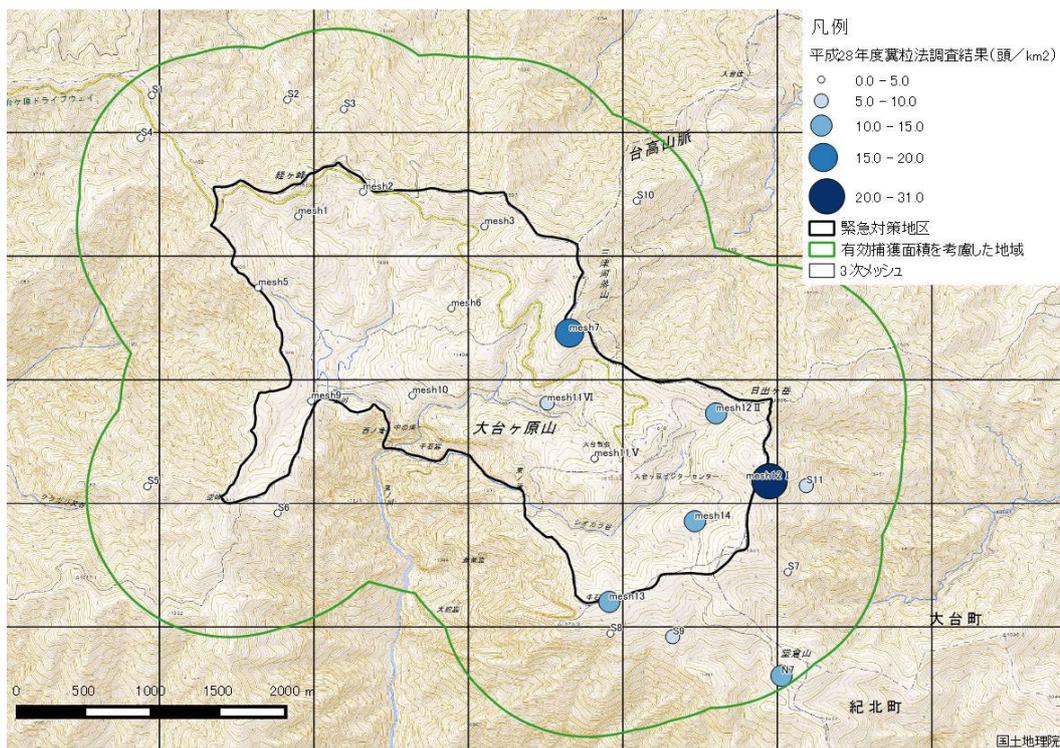


図 平成 28 (2016) 年度の糞粒法による生息密度結果 (調査地点別)

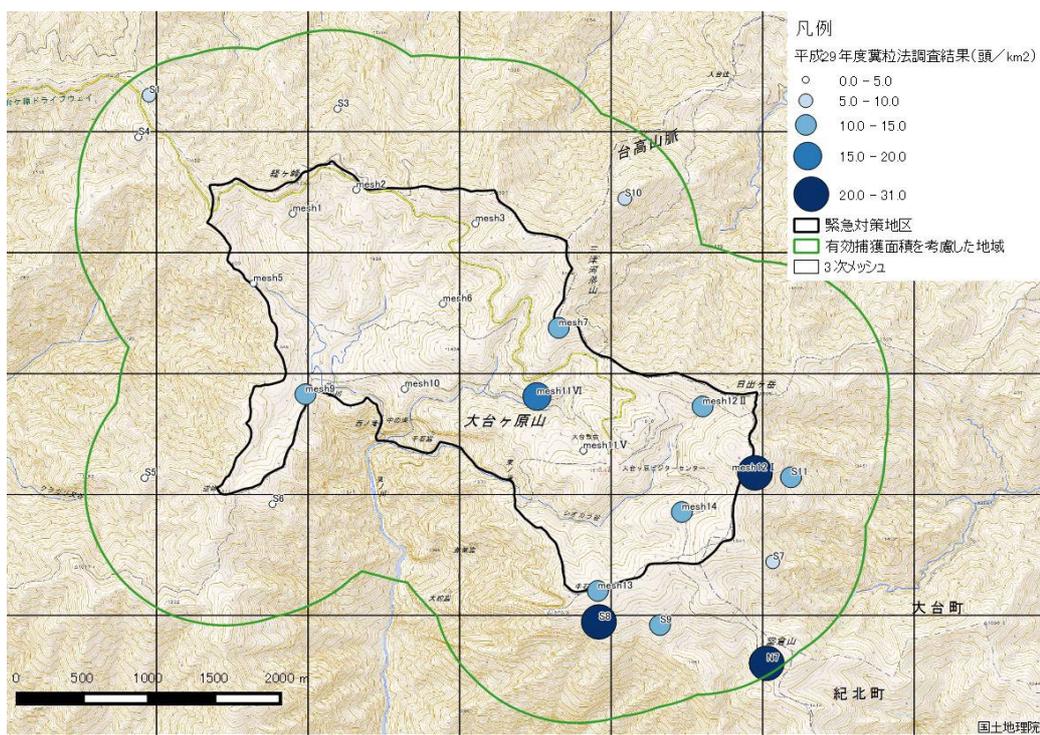


図 平成 29 (2017) 年度の糞粒法による生息密度結果 (調査地点別)

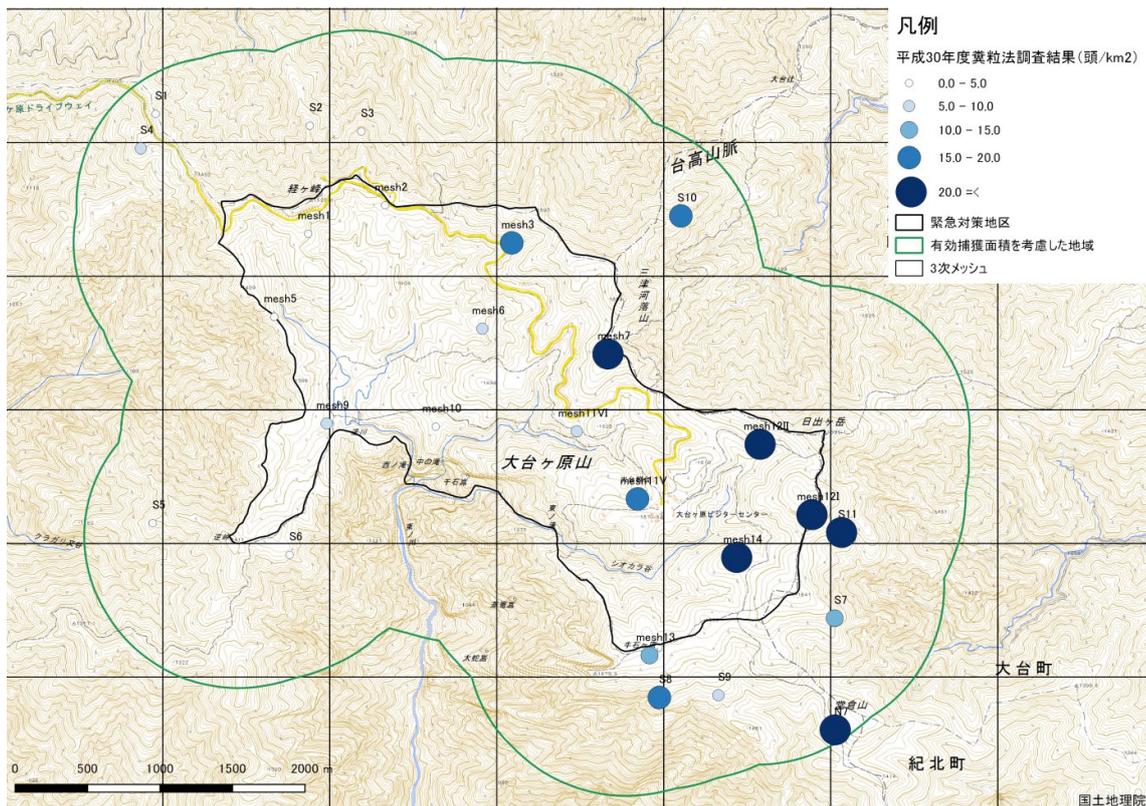


図 平成 30 (2018) 年度の糞粒法による生息密度結果 (調査地点別)

## 6. 西大台利用調整地区の歩道現況調査

### (1) 目的

人の利用による遊歩道への影響把握を目的とした。

### (2) 内容と方法

西大台の歩道で過年度 (平成 18~26 (2006~2014) 年度) に把握した洗掘箇所(10 カ所)、複線化箇所 (30 カ所)において(図 1)、それぞれの洗掘の幅、距離、深さ、複線化の幅、距離等を測定し記録するとともに、カメラによる定点調査を行い、カルテを作成した。また、西大台の利用状況データ、歩道の整備状況と合わせ、過年度のデータ、写真と比較し、歩道の状況変化の有無について取りまとめるとともに変化の原因について考察した。



### (3) 結果

西大台における歩道調査の結果を表1～4に示す。

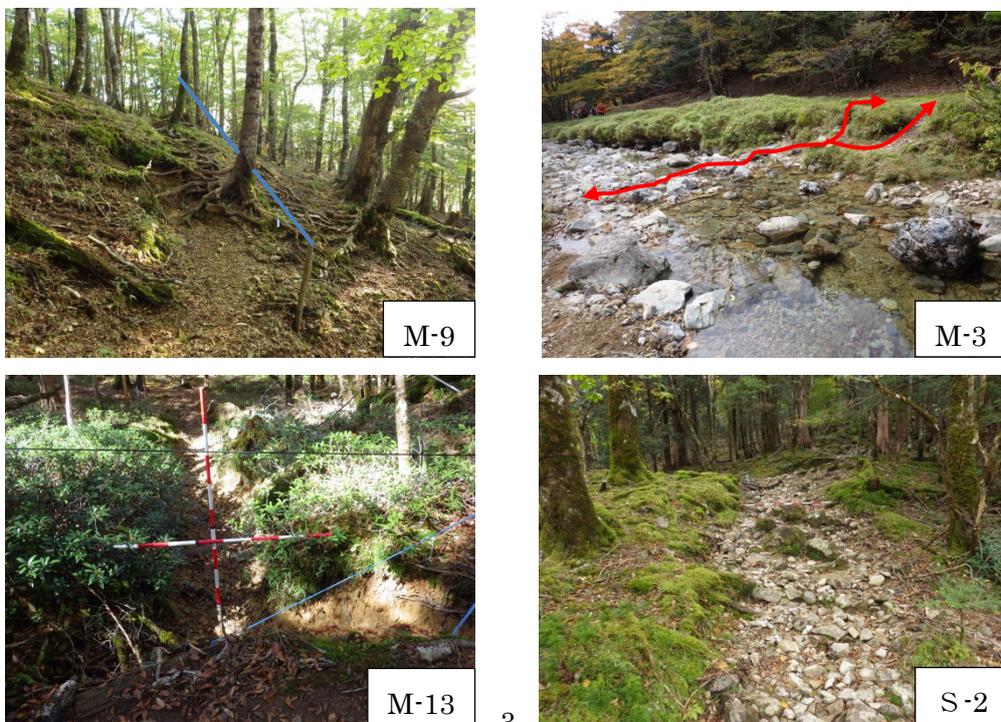
調査箇所は延べ32カ所あり、複線化が問題として挙げられた箇所は30カ所（平成18年：29カ所、平成23年1カ所）である。そのうち複線化が解消した地点は23カ所（77%）となり、かなり改善されたといえる。要因としては誘導ロープの設置が挙げられる。これによって動線が限定され、複線化が防がれた（M-9など）。一方、改善されていないところ（M-1、3、4、5、15、18、29）は、横に広がりやすい平坦な地形の部分が多く、誘導ロープの設置がない。また、河川渡渉部が下流側に移り、動線が変化したため、新たに複線化が形成されたところ（M-3）も見られた。こういった箇所も誘導ロープが設置されれば、複線化は解消できる可能性が高い。

洗掘については10カ所（平成18年：9カ所、平成23年1カ所）が挙げられていたが、大半の地点では大きな変化は見られなかった。ただし、M-4（ナゴヤ谷広場近く）では、主線部が洗掘によって水路化（リル侵食）し、河川側が複線化していた（表1）。また、複線化が問題視されていたM-13においては、誘導ロープによって複線化は解消したが、丸太で階段状に整備された歩道が洗掘によって流出し、ロープによって通行禁止措置が取られ、新道が形成されていた。全般に洗掘は石礫基盤の歩道（S-2など）では変化は見られなかったが、土壌基盤のところ（S-4）では、進んでいた。

周辺の植生は、大台教会周辺のM-25、26、27ではミヤコザサの生育が目立ったが、大半の地域は大きな変化が見られず、全般にニホンジカの採食圧が依然強く、貧弱なままであった。

西大台の入山者数を表5、図2に示す。平成20（2008）年度は1000名程度であったが、徐々に増加し、平成28（2016）年度が最も多く3000名を超えた。しかし、その後減少に転じ、平成30（2018）年度は2500名程度となった。月別では春（5月）と秋（10月）に多い。

写真1 歩道調査の主な地点



3

表 西大台における入山者数

月	H20年度 2008年度	H21年度 2009年度	H22年度 2010年度	H23年度 2011年度	H24年度 2012年度	H25年度 2013年度	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度
4	50	43	20	41	41	58	96	72	120	182	157
5	187	303	204	437	472	591	699	851	639	687	533
6	163	107	241	187	277	230	278	216	288	261	169
7	82	74	97	139	181	250	230	230	363	268	158
8	122	107	144	268	246	340	300	303	400	310	227
9	69	81	116	64	242	199	234	368	216	223	169
10	268	283	543	425	841	714	711	834	903	632	771
11	195	124	138	133	439	315	237	343	314	358	305
計	1136	1122	1503	1694	2739	2697	2785	3217	3243	2921	2489

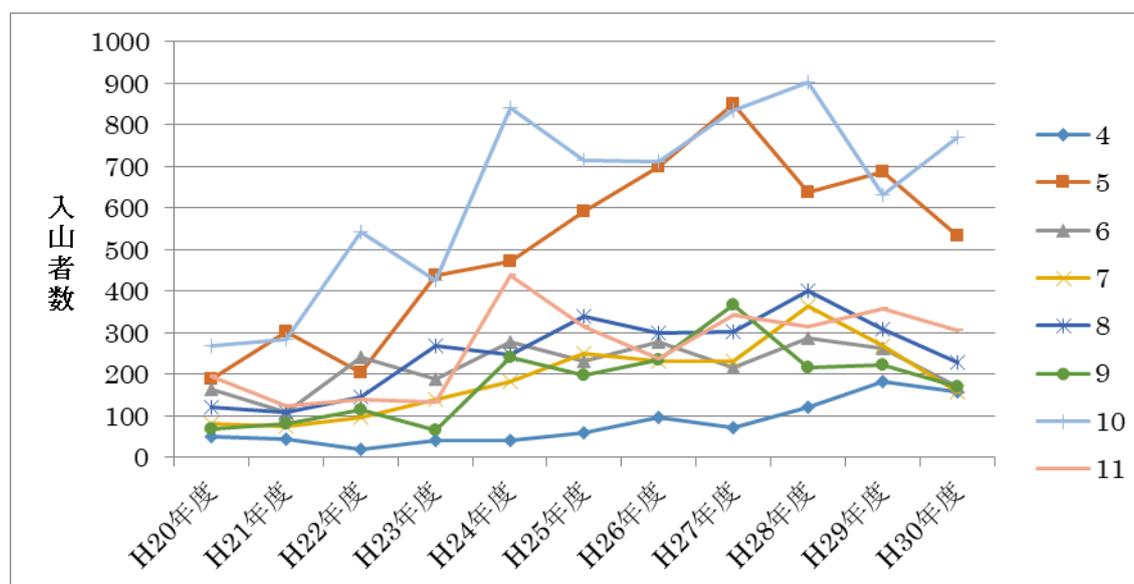
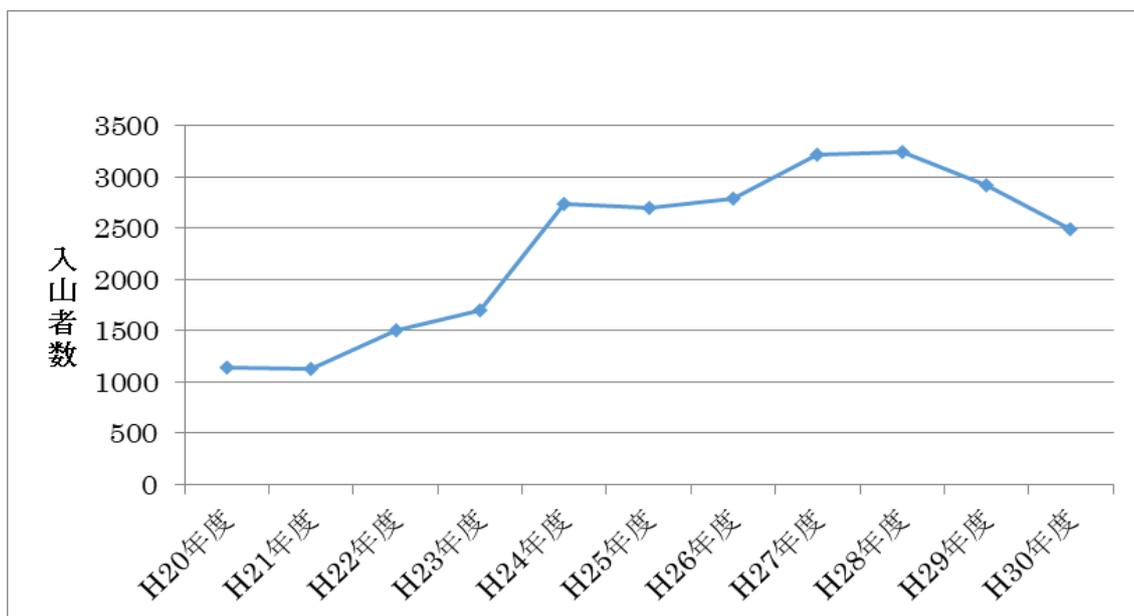


図 西大台における平成 20～30 (2008～2018) 年度における入山者数の変遷  
(上：総数、下：月別)